

令和6年度 第1回施設長会 会議資料

(川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会)

○連絡事項 川崎市社会福祉協議会人事異動について …資料 1

— 議 題 —

1 役員・委員等について …資料 2

2 令和5年度老人福祉施設協議会事業報告（案）について …資料 3

3 各プロジェクト委員会の進捗状況等について … 資料 4

(1) 災害プロジェクト委員会について

(2) 人材プロジェクト委員会について

4 施設長会情報交換テーマについて … 資料 5

5 施設部会ホームページについて … 資料 6

6 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 …資料 7

(1) かながわ高齢者福祉研究大会今後のあり方検討会について

(2) 課題別部会（施設運営・人材確保等・災害対応）について

7 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会 … 資料 8

(1) 第1回代表者会（4/11）について

(2) 第59回関東ブロック老人福祉施設研究総会（長野大会）について

8 その他

・川崎市福祉人材バンク … 資料 9

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会
災害プロジェクト委員会 委員名簿

■委員任期：令和５・６年度

(順不同・敬称略)

No.	役職	区	委員氏名	所属先	所属先 役 職
1		川崎	見 原 啓 一	ビオラ川崎	施設長
2		幸	寺 下 敏 幸	幸風苑	施設長
3		中原	田 邊 浩 康	せせらぎ	施設長
4		中原	佐 藤 徹	ひらまの里	施設長
5		高津	登 坂 太 郎	和楽館	副施設長
6	○	宮前	稲 垣 仁 久	わらく桃の丘	施設長
7	◎	多摩	山 口 皓 史	生田まほろば	施設長
8		多摩	藤 谷 敬 一 郎	菅の里	施設長
9		麻生	佐 藤 香 一	潮見台みどりの丘	副施設長
一		一	清 水 完 敏	老人福祉施設協議会	会長

◎委員長 ○副委員長

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会

人材プロジェクト委員会 委員名簿

■任期：令和5・6年度

(順不同・敬称略)

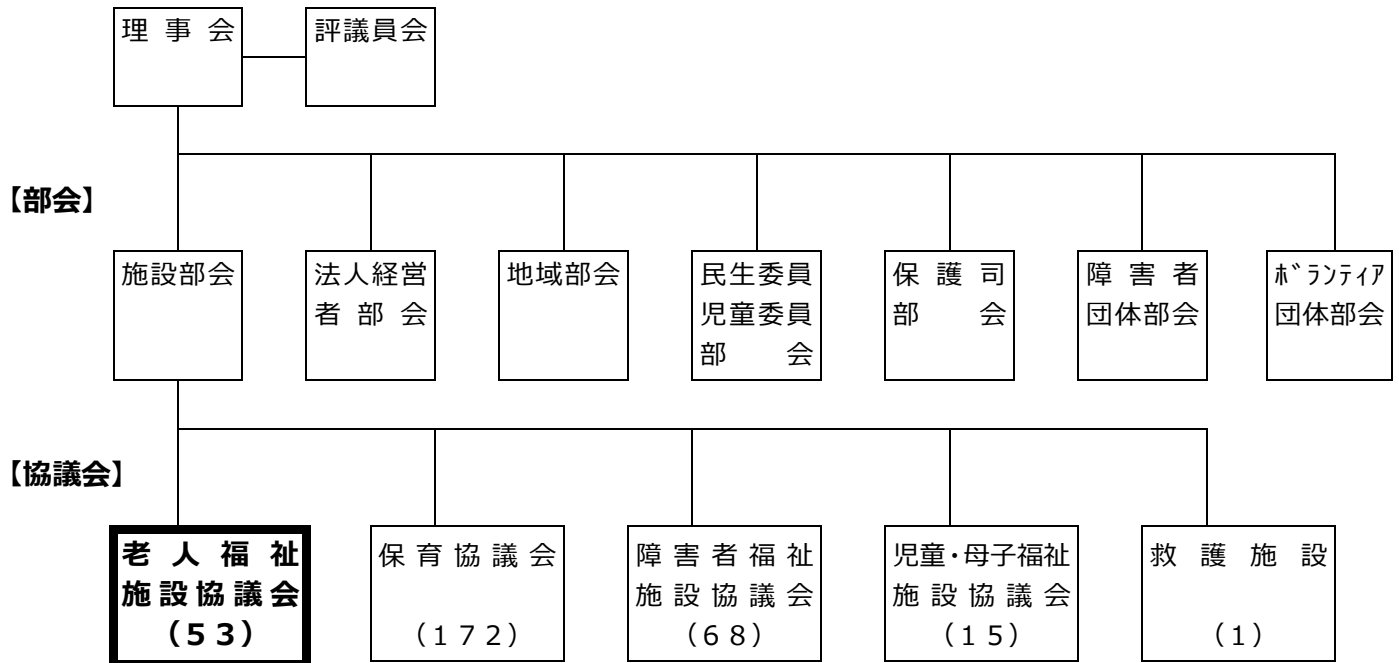
No.	役職	区	委員氏名	所属先	所属先 役 職	担当班
1		川崎	古敷谷 耕平	大師の里	施設長	HW動画
2		川崎	伊藤 規子	しおん	施設長	アンケート
3		川崎	和田 泰明	桜寿園	施設長	アンケート
4	○	中原	岩壁 信行	等々力	施設長	アンケート
5	◎	高津	小林 秀夫	新緑の郷	施設長	アンケート HW動画
6	○	高津	平山 みちる	すえなが	施設長	HW動画
7		多摩	神田 けい子	生田広場	施設長	アンケート
8		多摩	茶園 恵美子	多摩川の里	施設長	HW動画
9		麻生	吉野 英明	金井原苑	苑長	HW動画
－		－	清水 完敏	老人福祉施設協議会	会長	

◎委員長 ○副委員長

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会組織図

施設部会 老人福祉施設協議会 関係図

【市社協内組織】



【老施協内組織】

●施設長会（合同）

構成：市内老人福祉施設 施設長

●正副会長等会議

構成：正副会長、県老施協委員

オブザーバー：川崎市老人福祉施設事業協会

●災害プロジェクト委員会（平成 27 年度設置）

構成：会員施設代表

オブザーバー：川崎市老人福祉施設事業協会、行政 等

●人材プロジェクト委員会（平成 29 年度設置）

構成：会員施設代表

オブザーバー：川崎市老人福祉施設事業協会 等

(趣 旨)

第1条 この要領は、川崎市社会福祉協議会施設部会運営要綱に基づき設置される川崎市社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会（以下「本協議会」という。）の運営について必要な事項を定める。

(構 成)

第2条 本協議会は社会福祉法人川崎市社会福祉協議会会員である老人福祉施設で構成する。

(役 員)

第3条 本協議会の円滑な運営を図るため、会長1名及び副会長2名を置く。

2 会長は会務を統括し、会長に事故あるときは、副会長がその職務を代理する。

(役員の選任)

第4条 会長の選任については、あらかじめ立候補期間を設け、立候補者の中から、施設長会において選任する。選任の方法については、施設長会においてその都度協議のうえ定める。

2 立候補がなかった場合は、施設長会において互選により選任する。

3 副会長は、会長が候補者を選出し、施設長会において選任する。

(会 議)

第5条 本協議会会長は必要に応じ別表に定める会議を招集し、その議長となる。ただし、施設長会の議長は、その都度選任する。

(委員会の設置)

第6条 本協議会は必要に応じ委員会を設置することができる。

(その他)

第7条 この要領を変更する場合は、施設長会において決定するものとする。

2 この要領に定めるもののほか、本協議会の運営に必要な事項は、施設長会で協議のうえ定める。

附 則

この要領は平成23年4月1日から施行する。

附 則

この改定要領は平成24年11月1日から施行する。

附 則

この改定要領は令和2年4月1日から施行する。

(別 表)

会議名	構成
施設長会（総会含む）	本協議会会員施設の施設長
正副会長会議	正副会長

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会
災害プロジェクト委員会設置要綱

(趣 旨)

第1条 この要綱は、川崎市社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会（以下、「本協議会」という）災害プロジェクト委員会（以下、「本委員会」という。）の設置運営等に関して必要な事項を定める。

(目 的)

第2条 本委員会は、本協議会の会員施設が発災時にも業務を継続して運営出来るよう、また市内の高齢者施設が連携することにより、利用者への安定したサービスが継続出来るよう、つぎの事項について検討する。

- (1) 職員の安全と行動に関すること
- (2) 利用者の安全とサービスの継続に関すること
- (3) 施設機能の維持と機能低下の予防に関すること
- (4) 市内会員老人福祉施設との連携に関すること
- (5) その他本委員会が必要と認めたこと

(構 成)

第3条 本委員会の委員は次の者とし、概ね10名程度の委員を以って構成する。

- (1) 本協議会会員施設（施設長又は施設運営に関わる役職員） 7名程度
- (2) 委員の構成は川崎市をいくつかのエリアに分け、それぞれの特性を考慮し選出する
- (3) その他本協議会会長が必要と認める者

2 本委員会の委員は会員施設からの公募による選出を行い、本協議会会長が委嘱する。

(役 員)

第4条 本委員会には委員の互選により、委員長1名及び副委員長1名を置く。

- 2 委員長は本委員会を代表し、会の円滑な運営に努める。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は2年以内とし、本協議会会長が定めた期間とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 任期途中で欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会 議)

第6条 本委員会は委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員長が必要と認めるときは、本委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。
- 3 本委員会で検討された事項は、直近の施設長会での報告を行い、必要に応じた協議を行う。

(事務局)

第7条 本委員会の事務局は、川崎市社会福祉協議会福祉部施設事業推進課に置く。

(その他)

第8条 この要綱を変更する場合は、施設長会において決定するものとする。

- 2 この要綱に定めるもののほか、本委員会の運営に関し必要な事項は、本協議会会長が別に定める。

附 則

この要綱は平成27年6月17日から施行する。

この改正要綱は令和3年2月17日から施行する。

この改正要綱は令和5年4月19日から施行する。

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会
人材プロジェクト委員会設置要綱

(趣 旨)

第1条 この要綱は、川崎市社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会（以下、「本協議会」という。）人材プロジェクト委員会（以下、「本委員会」という。）の設置運営等に関して必要な事項を定める。

(目 的)

第2条 本委員会は、川崎市内の老人福祉施設のこれからの運営を担う新たな福祉人材の発掘及び育成とともに、既に働いている福祉人材がその専門性を活かして生き生きと活躍し、やりがいを持って働き続けられる環境を構築していくため、次の事項について検討する。

- (1) 新しい福祉人材の発掘及び育成に関すること
- (2) 市内で既に働いている福祉人材の養成及び定着に関すること
- (3) 介護福祉士養成校等との連携に関すること
- (4) 市内福祉人材養成関係機関との連携に関すること
- (5) 市内会員老人福祉施設との連携に関すること
- (6) その他本委員会が必要と認めたこと

(構 成)

第3条 本委員会の委員は次の者とし、概ね10名程度の委員を以って構成する。

- (1) 本協議会会員施設（施設長又は施設運営に関わる役職員） 7名程度
- (2) その他本協議会会長が必要と認める者

2 本委員会の委員は会員施設からの公募による選出を行い、本協議会会長が委嘱する。

(役 員)

第4条 本委員会には委員の互選により、委員長1名及び副委員長2名を置く。

- 2 委員長は本委員会を代表し、会の円滑な運営に努める。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は2年以内とし、本協議会会長が定めた期間とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 任期途中で欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会 議)

第6条 本委員会は委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員長が必要と認めるときは、本委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。
- 3 本委員会で検討された事項は、直近の施設長会での報告を行い、必要に応じた協議を行う。

(事務局)

第7条 本委員会の事務局は、川崎市社会福祉協議会福祉部施設事業推進課に置く。

(その他)

第8条 この要綱を変更する場合は、施設長会において決定するものとする。

- 2 この要綱に定めるもののほか、本委員会の運営に関し必要な事項は、本協議会会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成29年6月21日から施行する。

この改正要綱は、平成31年4月17日から施行する。

この改正要綱は、令和3年2月17日から施行する。

この改正要綱は、令和5年4月19日から施行する。

令和6年度 川崎市社会福祉協議会 関連職員の人事異動について

関連する役員、部課の職員・人事異動は次の通りです。

令和6年4月1日付

役職	現	前	備考
常務理事	邊見 洋之		
事務局長	久々津 裕敏	高田 智幸	※川崎市から派遣
事務局次長 ※総務部長兼務	小澤 竜騎	—	令和5年度までは総務部長
総務部 企画調整室 室長	平林 秀敏		法人経営者部会 地域生活支援SOSかわさき事業
総務部 企画調整室 担当課長	吉江 清嗣	—	※川崎市から派遣
総務部 福祉人材バンク 所長	山下 久美子		
総務部 総合研修センター 所長	荻野 るりか		
福祉部長・ICT 推進室長	中島 洋一		※ICT 推進室新設
福祉部 施設事業推進課 課長	廣瀬 祐義 (あんしんセンター運営課)	和田 真澄 (総務部総合福祉センター)	施設部会 大都市社会福祉施設協議会
施設事業推進課 課員	金子 泰彰		保育協議会 障害者福祉施設協議会
	鈴木 哲生		老人福祉施設協議会 児童・母子福祉施設協議会
	戸倉 清和		老人福祉センター
福祉部 地域推進課 課長	小田 浩範		
福祉部 生活再建支援室 室長	西田 圭佑		
福祉部 ボランティア活動振興センター 所長	儘田 哲郎		
介護支援部長	丸山 美香		
川崎市あんしんセンター部長	筒井 康仁		
川崎市あんしんセンター 運営課 課長	野口 知子 (中原区あんしんセンター)	廣瀬 祐義 (施設事業推進課)	

川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会 役員・委員等について

① 老人福祉施設協議会正副会長

任期：令和 5・6 年度（2 ヶ年）（敬称略）

役 職	氏 名
会長	清水 完敏 (夢見ヶ崎)
副会長	白井 裕一 (富士見プラザ)
副会長	平山 みちる (すえなが)

◎川崎市社会福祉協議会施設部会に委員として参加

② 老人福祉施設協議会人材プロジェクト委員会

任期：令和 5・6 年度（2 ヶ年）（敬称略）

役 職	氏 名
委員長	小林 秀夫 (新緑の郷)
副委員長	岩壁 信行 (等々力)
副委員長	平山 みちる (すえなが)

③ 老人福祉施設協議会災害プロジェクト委員会・防災班長会議

任期：令和 5・6 年度（2 ヶ年）（敬称略）

役 職	氏 名
委員長・議長	山口 皓史 (生田まほろば)
副委員長・副議長	稲垣 仁久 (わらく桃の丘)

④ 川崎市社会福祉協議会 理事・評議員

任期：令和 5・6 年度（2 ヶ年）（敬称略）

役 職	氏 名	備 考
老人福祉施設協議会 会長	清水 完敏 (夢見ヶ崎)	理事
老人福祉施設協議会 副会長	白井 裕一 (富士見プラザ)	評議員

⑤ 神奈川県社協老人福祉施設協議会委員

任期：令和５・６年度（２ヵ年）

（敬称略）

役 職	氏 名
県老人福祉施設協議会 副会長	清水 完敏 (夢見ヶ崎)
—	白井 裕一 (富士見プラザ)
—	平山 みちる (すえなが)
—	関口 英志 (おだかの郷)
—	田邊 亜佳音 (片平長寿の里)

◎川崎市社会福祉協議会老人福祉施設協議会正副会長等会議に参加

⑥ 神奈川県社協老人福祉施設協議会課題別部会委員

任期：令和５・６年度（２ヵ年）

（敬称略）

課題別部会	役 職	氏 名
施設運営 に関する部会	—	白井 裕一 (富士見プラザ)
	—	関口 英志 (おだかの郷)
人材確保等 に関する部会	部会 委員長	小林 秀夫 (新緑の郷)
	—	岩壁 信行 (等々力)
災害対応 に関する部会	—	山口 皓史 (生田まほろば)
	—	稲垣 仁久 (わらく桃の丘)

⑦ かながわ高齢者福祉研究大会今後のあり方検討会委員

任期：令和５年度下半期～令和６年度上半期 （敬称略）

現
白井 裕一 (富士見プラザ)
平山 みちる (すえなが)
藤田 茂樹 (藤英会)

⑧ 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会の川崎市代表

任期：令和５・６年度（２ヵ年）（敬称略）

現
清水 完敏 (夢見ヶ崎)
—

⑨ 首都圏高齢者福祉協議会の川崎市代表

任期：単年度 ※第１回の会議において、正副会長選任（敬称略）

新	前
清水 完敏 (夢見ヶ崎)	清水 完敏 (夢見ヶ崎)

※令和５年度は未実施

⑩ 川崎市社協ボランティア活動振興センター運営委員

任期：令和６・７年度（２ヵ年）（敬称略）

新	前
保育協議会より選出	清水 完敏 (老人福祉施設協議会／夢見ヶ崎)

※施設部会各協議会にて輪番制

⑪ 川崎市福祉人材バンク運営委員 ※別紙参照

任期：令和６・７年度（２ヵ年）（敬称略）

新	前
清水 完敏 (夢見ヶ崎)	清水 完敏 (夢見ヶ崎)

⑫ 川崎市総合研修センター 研修アドバイザー ※別紙参照

任期：単年度（令和６年度新設）（敬称略）

新	前

⑬ 川崎市高齢者災害時避難計画等検討会委員

任期：単年度（令和５年度新設）（敬称略）

新	前
清水 完敏 (夢見ヶ崎)	清水 完敏 (夢見ヶ崎)

6 川社人バ第 2 号
令和 6 年 4 月 3 日

施設部会老人福祉施設協議会
会 長 様

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会
会 長 浮 岳 堯 仁



川崎市福祉人材バンク運営委員の推薦について（依頼）

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より本会の活動にご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、川崎市福祉人材バンクでは、社会福祉事業において安定した人材確保を図るため、福祉人材の無料職業紹介事業を実施し、運営にあたっては、円滑かつ効果的な事業実施に向け運営委員会を組織しております。

つきましては、当バンクの運営委員に貴下職員をご推薦いただきますようご依頼申し上げます。

同封の「推薦書」にご記入いただき、同封の返信用封筒にて 5 月 20 日（月）までにご返信をお願い申し上げます。

1 推薦者人数

1 名

2 任期

令和 6・7 年度（1 期 2 年間）

3 添付資料

- (1) 川崎市福祉人材バンク運営要綱
- (2) 川崎市福祉人材バンク運営委員の選出について
- (3) 川崎市福祉人材バンク運営委員会委員名簿（令和 4・5 年度）

< 事務担当 >

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会
川崎市福祉人材バンク 山下

〒211-0053 川崎市中原区上小田中 6-22-5
電話：044-739-8726 / FAX：044-739-8740



推 薦 書

令和 年 月 日

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 会長 様

団体名 _____

代表者 _____ 

つぎの者を川崎市福祉人材バンク運営委員会の委員として推薦いたします。

氏 名 _____

団体名 _____

所 属 _____

役職名 _____

連絡先 _____

メールアドレス _____

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会
川崎市福祉人材バンク運営要綱

(目的)

第1条 この運営要綱は、社会福祉法人川崎市社会福祉協議会定款（以下、「定款」という。）第2条に規定された事業を実施するにあたって必要な事項を定めることを目的とする。

(名称及び設置場所)

第2条 定款第2条の事業を行うため、川崎市福祉人材バンク（以下、「バンク」という。）を川崎市中原区上小田中6-22-5川崎市総合福祉センター内 社会福祉法人川崎市社会福祉協議会に設置する。

(事業)

第3条 バンクは、社会福祉事業への安定した人材確保が図られるように次に掲げる事業を行う。

- (1) 福祉人材確保のための広報・啓発
- (2) 福祉人材登録
- (3) 福祉分野を希望する者への紹介
- (4) 福祉人材確保のための企画調査
- (5) 福祉人材確保のための研修
- (6) その他福祉人材確保に必要な事業

(運営委員会)

第4条 バンクの円滑な運営と効果的な事業実施を図るために運営委員会を設置する。

(構成)

第5条 運営委員会は、次に掲げる団体等の者を以て構成する。

- (1) 社会福祉施設運営団体
- (2) 社会福祉従事者の関係団体
- (3) 社会福祉協議会、民生委員、自治会・町内会、等地域活動団体
- (4) 公共職業安定所、市行政関係者
- (5) 学識経験者等事業を推進するため適当と認められた者

(正副委員長の選任)

第6条 運営委員会に委員長1名、副委員長1名を置く。

- 2 正副委員長は、委員の互選とする。

(委員の委嘱)

第7条 運営委員は、川崎市社会福祉協議会会長が委嘱する。

(委員の任期)

第8条 運営委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の任期は、前任者の残任期間とする。

(正副委員長の職務)

第9条 委員長は会務を統括し、委員会を代表する。

2 委員長に事故あるときは、副委員長が職務を代理する。

(委員会の招集)

第10条 委員会は委員長が招集し、その議長となる。

(専門委員会の設置)

第11条 必要に応じ、運営委員会委員長は専門委員会を設置することができる。

2 専門委員会の代表は、運営委員会委員長が指名する。

(庶務)

第12条 運営委員会の庶務は、事業部川崎市福祉人材バンクにおいて処理する。

(その他)

第13条 この運営要綱に定めるもののほか、運営委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則 この要綱は、平成4年7月1日から施行する。

附 則 この要綱は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

川崎市福祉人材バンク運営委員会委員の選出について

川崎市福祉人材バンクでは、社会福祉事業への安定した人材確保を図ることを目的に、福祉人材の職業紹介業務を始め、福祉の仕事の就職相談会などの事業を実施しております。

福祉人材バンクの運営にあたっては、人材バンクの円滑な運営と効果的な事業実施を図るため、「川崎市福祉人材バンク運営委員会」（川崎市福祉人材バンク運営要綱第4条（運営委員会））を設置して、運営や事業計画についてご意見等をいただいております。

委員の任期は2年間となります。

（委員構成と選出依頼先）

委員構成は、運営要綱第5条（構成）の選出分野から委員を選出し、委員会を組織いたします。

	運営要綱上の選出（構成）分野	選出団体
1	社会福祉施設運営団体及び社会福祉従事者の関係団体	川崎市社会福祉協議会 施設部会老人福祉施設協議会
2		川崎市社会福祉協議会 施設部会障害福祉施設協議会
3		川崎市社会福祉協議会 施設部会保育協議会
4	学識経験者等事業を推進するため適当と認められた者	神奈川県介護福祉士養成校連絡協議会
5		神奈川新聞社川崎総局
6	社会福祉協議会、民生委員、自治会・町内会、等地域活動団体	神奈川県社会福祉協議会
7	公共職業安定所、市行政関係者	川崎北公共職業安定所
8		川崎市健康福祉局
9		川崎市こども未来局

（運営委員会の開催頻度・内容）

年間2回程度（7月頃と2月頃）開催し、そのほかにご協議をいただきたい事案がある場合に必要に応じて開催いたします。

- 内容
- ・運営状況、事業報告について
 - ・次年度の事業計画案について
 - ・その他

川崎市福祉人材バンク運営委員会 委員名簿

任期：令和4年度～5年度

(順不同・敬称略)

	氏名	正副委員長	所属・役職	選出母体
1	清水 完敏	正	社会福祉法人 和楽会 特別養護老人ホーム夢見が崎 施設長	川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会
2	古屋 隆		公益財団法人 川崎市身体障害者協会 川崎市中部身体障害者福祉会館	川崎市社会福祉協議会 施設部会 障害福祉施設協議会
3	石丸 慎介	副	社会福祉法人 大慈会 たつのこのはら保育園 園長	川崎市社会福祉協議会 施設部会 保育協議会
4	島田 今日子		田園調布学園大学 准教授	神奈川県介護福祉士養成校連絡協議会
5	高橋 融生		統合編集局企画委員 兼経営戦略本部員	神奈川新聞社
6	古矢 智美		川崎北公共職業安定所 職業相談第一部門 統括職業指導官	川崎北公共職業安定所
7	井上 直		社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 かながわ福祉人材研修センター 所長	神奈川県社会福祉協議会
8	中村 隆永		川崎市健康福祉局長寿社会部 高齢者事業推進課 課長	川崎市 健康福祉局長寿社会部 高齢者事業推進課
9	佐藤 美佳		川崎市こども未来局保育・子育て推進部 運営支援・人材育成担当	川崎市 こども未来局子育て推進部 担当課長

指定管理事業 総合研修センター研修事業における研修アドバイザーについて

(説明)

総合研修センター：指定管理事業 令和3年度より5年間

1 総合研修センターにおける研修について

- ・法定研修(高齢分野、障がい児者分野)および法定研修に準ずる研修
- ・単発のテーマ別研修：半日から1日程度の研修
- ・受講料：法定研修 研修により異なります
単発研修 半日2千円から3千円、1日4千円から5千円程度

2 研修対象

- ・福祉、保健分野等の対人援助業務従事者
- ・関係行政機関職員 など

3 研修の企画・設定状況

- ・法定研修は定められたカリキュラムにて実施（オリジナル科目を加える場合もあり）
→行政所管課を交えた研修企画検討委員会、講師・ファシリとの協議などにより調整
- ・単発研修のテーマ設定は、研修後のアンケートや月刊誌、旬な情報を収集し素案作成
→行政所管課との研修ワーキングにて行政機関、窓口に集まる情報等を取入れ修正
- ・例外事項 必要とされるテーマにて追加で単発研修(リクエスト研修)として実施

4 研修アドバイザー設置目的

- ・現場で必要とされる実践的な研修企画・立案のため
- ・第三者の意見を取り入れることでの機能強化を図るため

5 開催頻度

年 1 ～ 2回程度

6 謝礼

1回 1万円(税・交通費込み)

令和5年度 川崎市社会福祉協議会 施設部会
老人福祉施設協議会 事業報告（案）

①施設長会

月 日	事項	内 容	結 果	場 所
4 月 19 日	第 1 回	1 川崎市社会福祉協議会人事異動及び組織体制について 2 役員の選任及び各プロジェクト委員の報告 3 令和4年度事業報告（案）について 4 各プロジェクト委員会の進捗状況等について 5 施設長会での情報交換について 6 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会について (1) 課題別プロジェクト会議（災害・人材確保・介護報酬改定）について (2) 第21回かながわ高齢者福祉研究大会について 7 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会について 8 その他 (1) 施設部会 (2) 福祉人材バンク (3) 総合研修センター ※同日、情報交換会の開催	1 事務局より説明 2 事務局より説明後、承認 3 事務局より説明後、承認 4 事務局より説明 5 事務局より説明 6 事務局より説明 ※（2）については、副実行委員長より補足説明 7 事務局より説明 8 事務局、福祉人材バンク、総合研修センターより説明・報告 ※情報交換会 「災害について」 ①情報交換 ②その他	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン
6 月 21 日	第 2 回	1 役員等の選任について 2 各プロジェクト委員会の進捗状況について 3 施設長会での情報交換について 4 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会について (1) 県老協正副会長の選任について (2) 神奈川県高校生福祉研究発表会への優勝旗寄贈について (3) 課題別部会について (4) 第21回かながわ高齢者福祉研究大会について 5 その他 (1) 障害者福祉施設協議会施設長会でのミニ講座の講師について ※同日、情報交換会の開催	1 事務局より説明後、承認 2 各委員より説明 3 事務局より説明 4 事務局より説明 ※（4）については、副実行委員長より補足説明 5 事務局より説明・報告 ※情報交換会 「新型コロナウイルス5類移行に伴う対応の変化」 ①情報交換 ②その他	て く の か わ さ き ホ ー ル ・ オンライン

月 日	事項	内 容	結 果	場 所
8 月 23 日	第 3 回	1 各プロジェクト委員会の進捗状況について 2 施設長会での情報交換について 3 民間社会福祉施設従事者福利厚生費助成事業について 4 施設部会ホームページについて 5 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 (1) 課題別部会について (2) 第 21 回かながわ高齢者福祉研究大会について (3) かながわ高齢者福祉研究大会今後のあり方検討会委員について 6 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会代表者かいについて 7 第 58 回関東ブロック老人福祉施設研究総会について 8 その他 ※同日、情報交換会の開催	1 各委員より説明 2 事務局より説明 3 事務局より説明後、承認 4 事務局より説明 5 事務局より説明後、承認 ※ (2) については副実行委員長より補足説明 施設部会 (ふくしの出張講座) について 6 事務局より説明 7 事務局より説明 8 事務局より「食糧支援かわさき」への協力に御礼 ※情報交換会 「派遣職員と人材紹介事業所について」 ①情報交換 ②その他	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン
10 月 18 日	第 4 回	1 各プロジェクト委員会の進捗状況について 2 施設長会での情報交換について 3 民間社会福祉施設従事者福利厚生費助成事業について 4 施設部会ホームページについて 5 地元企業との交流会 (コネクションズかわさき) について 6 ふくしの出張講座について 7 中原区オンライン体操について 8 第 58 回関東ブロック老人福祉施設研究総会について 9 その他 (1) 総合研修センター ※同日、情報交換会の開催	1 各委員より説明 2 事務局より説明 3 事務局より説明 4 事務局より説明 5 事務局より説明 6 事務局より説明 7 事務局より説明 8 事務局より説明 9 総合研修センターより説明 ※情報交換会 「派遣職員と人材紹介事業所について～part2～」 ①情報交換 ②その他	て く の かわ さ き ホ ー ル ・ オンライン
12 月 20 日	第 5 回	1 各プロジェクト委員会の進捗状況について 2 施設長会での情報交換について 3 施設部会より (1) 第 2 回施設部会研修会について (2) 施設部会ホームページについて (3) 第 64 回大都市社会福祉施設協議会 (広島市大会) について	1 各委員より説明 2 事務局より説明 3 事務局より説明 4 事務局より説明 5 川崎市文化財団より説明 6 総合研修センターより説明 ※情報交換会 「容態急変等による救急対応	て く の かわ さ き ホ ー ル ・ オンライン

月 日	事項	内 容	結 果	場 所
		4 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 (1) かながわ高齢者福祉研究大会今後のあり方検討会について (2) 介護報酬改定に向けた要請活動における報告について 5 コンサート鑑賞サポートについて 6 その他 (1) 総合研修センター ※同日、情報交換会の開催	や看取りの現状について」 ①情報交換 ②その他	
2 月 21 日	第 6 回	1 各プロジェクト委員会の進捗状況について 2 施設長会での情報交換（説明会）について 3 令和 6 年度事業計画（案）について 4 施設部会 (1) ふくしの出張講座について (2) 障害者福祉施設関係者等研修会について (3) 保育協議会第 2 回研修会について 5 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 (1) 課題別部会の進捗状況報告について (2) 令和 6 年度以降のかながわ高齢者福祉研究大会について 6 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会 (1) 会費の納入について 7 その他 (1) 総合研修センター ※同日、情報交換会の開催	1 各委員より説明 2 事務局より説明 3 事務局より説明後、承認 4 事務局より説明 5 事務局より説明 6 事務局より説明 7 総合研修センターより説明 ※情報交換会 「人材確保・災害対策・感染対策・事業所契約・利用者トラブル等、各施設で今年度一番対応に苦慮した事例について」 ①情報交換 ②その他	て く の か わ さ き ホ ー ル ・ オンライン

※川崎市老人福祉施設事業協会施設長会と合同実施。

②正副会長等会議

月 日	事項	内 容	結 果	場 所
4 月 6 日	第 1 回	1 川崎市社会福祉協議会人事異動及び組織体制について 2 役員等の選任について 3 令和 4 年度事業報告（案）について 4 各プロジェクト委員会の進捗状況等について 5 情報交換会について 6 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会	1 事務局より説明 2 事務局より説明後、協議 3 事務局より説明後、協議 4 事務局より説明 5 事務局より説明後、協議 6 事務局より説明 ※ (2) については副実行委員長より補足説明 7 事務局より説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン

月 日	事項	内 容	結 果	場 所
		(1) 課題別プロジェクト会議(災害・人材確保・介護報酬改定)について (2) 第 21 回かながわ高齢者福祉研究大会について 7 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会について 8 その他 (1) 福祉人材バンク (2) 総合研修センター	8 福祉人材バンク、総合研修センターより説明	
6 月 1 日	第 2 回	1 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会委員会(5/29)について 2 役員等の選任について 3 各プロジェクト委員会の進捗状況報告について 4 施設長会での情報交換テーマについて 5 民間社会福祉施設従事者福利厚生費助成事業について 6 障害者福祉施設協議会施設長会でのミニ講座について	1 会長、事務局より説明 2 事務局より説明後、協議 3 事務局より説明 4 事務局より説明後、協議 5 事務局より説明 6 事務局より説明後、協議	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン
8 月 3 日	第 3 回	1 各プロジェクト委員会の進捗状況について 2 施設長会での情報交換テーマについて 3 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 (1) 課題別部会(施設運営・人材確保・災害対応)委員の推薦について (2) 第 21 回かながわ高齢者福祉研究大会について (3) かながわ高齢者福祉研究大会今後のあり方検討会委員について 4 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会第 2 回代表者会について 5 第 58 回関東ブロック老人福祉施設研究総会について 6 その他 (1) 民間社会福祉施設従事者福利厚生費助成事業について (2) 施設部会ホームページについて (3) 神奈川工科大学の取り組みについて	1 事務局より説明 2 事務局より説明後、協議 3 事務局より説明後、協議 ※ (2) については副実行委員長より補足説明 4 事務局より説明 5 事務局より説明 6 事務局より説明後、協議	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー ボ ラ ン テ ィ ア 交 流 室 ・ オンライン
10 月 5 日	第 4 回	1 各プロジェクト委員会の進捗状況について	1 事務局より説明	川 崎 市 総 合 福 祉

月 日	事項	内 容	結 果	場 所
		2 施設長会での情報交換のテーマについて 3 民間社会福祉施設従事者福利厚生費助成事業を活用したオンライン研修の内容について 4 第 58 回関東ブロック老人福祉施設研究総会について 5 その他 (1) 地元企業との交流会（かわさき若者サポートステーション）について (2) ふくしの出張講座について	2 事務局より説明後、協議 3 事務局より説明 4 事務局より説明 5 事務局より説明後、協議	センター 研修室 ・ オンライン
12 月 7 日	第 5 回	1 各プロジェクト委員会の進捗状況について 2 施設長会での情報交換のテーマについて 3 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 (1) かながわ高齢者福祉研究大会第 1 回今後のあり方検討会について (2) 介護報酬改定に向けた要望活動における報告について 4 施設部会 (1) 第 2 回施設部会研修会について (2) 施設部会ホームページについて (3) 第 64 回大都市社会福祉施設協議会（広島市大会）について 5 コンサート鑑賞サポート（川崎市文化財団）について	1 事務局より説明 2 事務局より説明後、協議 3 会長、各委員、事務局より説明 4 事務局より説明 5 事務局より説明	川 崎 市 総 合 福 祉 センター 研 修 室 ・ オンライン
2 月 5 日	第 6 回	1 各プロジェクト委員会の進捗状況について 2 施設長会の情報交換のテーマについて 3 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 (1) 課題別部会（施設運営・人材確保・災害対応）について (2) 令和 6 年度以降のかながわ高齢者福祉研究大会について 4 使用済み紙おむつの取り扱いについて 5 令和 6 年度事業計画（案）について 6 その他 (1) 能登半島地震への社協の取り組み状況について	1 事務局より説明 2 事務局より説明後、協議 3 各委員、実行委員より説明 4 事務局より説明 5 事務局より説明後、協議 6 事務局より説明	川 崎 市 総 合 福 祉 センター 研 修 室 ・ オンライン

③災害プロジェクト委員会

月 日	事 項	内 容	結 果	場 所
5 月 9 日	第 1 回 班 長 会 議 第 1 回	1 正副委員長の選出等について 2 健康福祉局危機管理担当より 3 今年度の災害プロジェクト委員会 の取り組みについて 4 各施設での災害対応の取組 みについての情報交換	1 事務局より説明後、協議 2 健康福祉局危機管理担当 より説明後、協議 3 事務局より説明後、協議 4 各委員より説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン
7 月 20 日	第 2 回	1 令和 5 年度川崎市総合防災訓 練について 2 令和5年度第1回情報伝達訓練に ついて 3 防災に関する合同班会議について 4 災害に関する研修会等について	1 事務局より説明 2 健康福祉局危機管理担当 より説明 3 事務局より説明後、協議 4 事務局より説明後、協議	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 会 議 室 ・ オンライン
7 月 27 日	合 同 防 災 班 会 議	1 情報伝達訓練の振り返り 2 班で実施する訓練について 3 防災に関する各施設の取組み についての情報交換	1 各班で協議 2 各班で協議 3 各班で情報共有	オンライン
9 月 3 日	川 崎 市 総 合 防 災 訓 練 ・ 物 資 移 送 訓 練	1 二次避難所立上げ訓練 2 情報伝達・物資移送訓練	1 委員長からの説明後、見 学 2 訓練の見学及び参加	生 田 ま ほ ろ ば
9 月 5 日	第 3 回 班 長 会 議 第 3 回	1 川崎市総合防災訓練（9/3）に ついて 2 各事業進捗状況および今後の取 組みについて (1) 防災責任者の変更について (2) 各班の取組みについて (3) 川崎市内施設での施設間連携 の強化について	1 健康福祉局危機管理担当 より説明後、各委員からの 振り返り 2 (1) 事業協会より説明 (2) 各委員より説明 (3) 事務局より説明後、協議	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン
10 月 31 日	第 4 回 班 長 会 議 第 4 回	1 令和 5 年度第 2 回情報伝達訓 練について 2 各班の取組み状況について 3 災害に関する研修会等につい て	1 健康福祉局危機管理担当 より説明 2 各委員より説明 3 事務局より説明後、協議	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン
1 月 15 日	第 5 回 班 長 会 議 第 5 回	1 令和 5 年度第 2 回情報伝達訓 練 (11/22) 実施報告について 2 災害時高齢者・障害者施設等 情報共有システム(通称E-Welfiss) の仕様について 3 各班の訓練等取組み状況につ いて 4 施設間連携の取組みとしての 横浜市社協高齢福祉部会災害プロ ジェクト委員会との情報交換会に ついて	1 事務局より説明後、各委 員より振り返り 2 事業協会より説明後、各 委員より意見出し 3 各委員より説明 4 事務局より説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン

※他、行政との災害に関する各種打合せを実施

④人材プロジェクト委員会

月 日	事 項	内 容	結 果	場 所
4 月 11 日	ハローワークとの打合せ	1 令和5年度の「福祉の仕事」説明会について	1 事務局より説明後、協議	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター ボランティア 交 流 室
5 月 17 日	第 1 回	1 川崎市における介護人材確保施策について 2 正副委員長等の選出について 3 第21回かながわ高齢者福祉研究大会係員等の選出について 4 ハローワーク「福祉の仕事」説明会について 5 介護人材の育成・定着に関するアンケートについて 6 人材プロジェクト委員会の今後の取り組みについて	1 健康福祉局高齢者事業推進課より説明 2 事務局より説明後、協議 3 事務局より説明後、協議 4 事務局より説明後、協議 5 事務局より説明後、協議 6 事務局より説明後、協議	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター 研 修 室 ・ オンライン
5 月 19 日	第 1 回 福祉の仕事 説 明 会	1 川崎市社会福祉協議会について（福祉の仕事・資格の案内） 2 施設でのケアの実際 3 福祉の現場からの声・質疑応答	参加者 ハローワーク川崎：17 名 福祉パルなかはら：23 名	ハローワーク 川 崎 ・ 福 祉 パ ル な か は ら
6 月 12 日	正副委員長 会 議	1 ハローワーク「福祉の仕事」説明会について 2 人材プロジェクト委員会の今後の取り組みについて 3 その他	1 事務局より説明後、協議 2 事務局より説明後、協議 3 施設長会での報告について 事務局から委員長に依頼	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター 研 修 室
7 月 14 日	第 2 回 福祉の仕事 説 明 会	1 川崎市社会福祉協議会について（福祉の仕事・資格の案内） 2 施設でのケアの実際 3 福祉の現場からの声・質疑応答	参加者 ハローワーク川崎：20 名 総合福祉センター：26 名	ハローワーク 川 崎 ・ 福 祉 パ ル た か つ
7 月 19 日	第 2 回	1 ハローワーク「福祉の仕事」説明会について 2 介護人材の育成・定着に関するアンケートについて 3 人材プロジェクト委員会の今後の取り組みについて 4 その他	1 事務局、担当委員より説明 2 事務局より説明後、協議 3 事務局より説明後、協議 4 事務局より、東京都社協「質と量の好循環をめざした福祉人材の確保・育成・定着に関する調査 2022」について説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター 研 修 室 ・ オンライン
8 月 7 日	第 1 回 アンケート 班 会 議	1 目的について 2 実施方法について 3 対象者について 4 内容について 5 実施時期について 6 広報・啓発方法について	1 事務局より説明後、協議 2 事務局より説明後、協議 3 事務局より説明後、協議 4 事務局より説明後、協議 5 事務局より説明後、協議 6 事務局より説明後、協議	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター 研 修 室 ・ オンライン

月 日	事 項	内 容	結 果	場 所
8 月 8 日	第 1 回 福祉の仕事 動画班会議	1 メインターゲットについて 2 構成について 3 内容について 4 今後のスケジュールについて	1 事務局より説明後、協議 2 事務局より説明後、協議 3 事務局より説明後、協議 4 事務局より説明後、協議	オンライン
9 月 15 日	第 3 回 福祉の仕事 説 明 会	1 川崎市社会福祉協議会について （福祉の仕事・資格の案内） 2 施設でのケアの実際 3 福祉の現場からの声・質疑応答	参加者 ハローワーク川崎：18 名 川崎市総合福祉センター：24 名	ハローワーク 川 崎 ・ 川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター 研 修 室
9 月 20 日	第 3 回	1 ハローワーク「福祉の仕事」 説明会について 2 福祉の仕事動画班会議につい て 3 アンケート班会議について 4 その他 （1）地元企業との交流会（かわ さき若者サポートステーショ ン）について （2）ふくしの出張講座について	1 事務局、担当委員より説明 後、協議 2 事務局、担当委員から説 明 後、協議 3 事務局、担当委員から説 明 後、協議 4 事務局より説明後、協議	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター 研 修 室 ・ オンライン
11 月 8 日	第 4 回 福祉の仕事 説 明 会	1 川崎市社会福祉協議会について （福祉の仕事・資格の案内） 2 施設でのケアの実際 3 福祉の現場からの声・質疑応答	参加者 ハローワーク川崎：12 名 福祉パルみやまえ：13 名	ハローワーク 川 崎 ・ 福 祉 パ ル み や ま え
11 月 17 日	第 2 回 福祉の仕事 動画班会議	1 プレ動画作成のためのパワー ポイント資料内容確認 2 今後のスケジュールについて	1 事務局より説明後、協議 2 事務局より説明	オンライン
11 月 17 日	第 1 回 アンケート班 委 員 長 ・ 班 長 会 議	1 人材定着に向けたアンケート 項目の検討 2 今後のアンケート班のスケジ ュール 3 アンケートに関する研修内容 について	1 班長より説明後、協議 2 バックオフィス総研コン サルティング合同会社よ り 説明後、協議 3 事務局より説明後、協議	オンライン
11 月 20 日	地 元 で 活 躍 す る 企 業 と の 交 流 会	1 参加 4 企業からの事業説明 2 15 分×4 回のグループ交流 ※3～4 名を 1 グループとして 各企業と交流	参加者 20 代～40 代の求職者 15 名	て く の か わ さ き 研 修 室
11 月 30 日	アンケート 研 修	テーマ： 人事課題解決のためのセッション 講師： バックオフィス総研コンサル ティング合同会社 前田 直 氏	参加者 対面：6 名 オンライン：4 名	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター ボ ラン ティ ア 交 流 室 ・ オンライン

月 日	事 項	内 容	結 果	場 所
11月30日	第 4 回	1 ハローワーク「福祉の仕事」説明会について 2 福祉の仕事動画班会議について 3 地元で活躍する企業との交流会について	1 事務局、担当委員より説明 2 事務局より説明後、協議 3 担当委員より報告	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー ボランティア 交 流 室 ・ オンライン
1月11日	第 3 回 福祉の仕事 動画班会議	1 プレ動画作成のためのパワーポイント資料内容確認 2 今後のスケジュールについて	1 事務局より説明後、協議 2 事務局より説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン
1月19日	第 5 回 福祉の仕事 説 明 会	1 川崎市社会福祉協議会について（福祉の仕事・資格の案内） 2 施設でのケアの実際 3 福祉の現場からの声・質疑応答	参加者 ハローワーク川崎：26名 福祉パルたま：22名	ハローワーク 川 崎 ・ 福 祉 パ ル た ま
1月30日	第 5 回	1 ハローワーク「福祉の仕事」説明会について 2 福祉の仕事動画班会議について 3 バックオフィス総研コンサルティングとのアンケート内容検討について	1 事務局、担当委員より説明 2 事務局より説明後、協議 3 事務局より説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン
1月31日	第 2 回 アンケート班 委 員 長 ・ 班 長 会 議	1 タスク整理について 2 アンケート班として取り組むこと 3 今後のスケジュール	1 事務局より説明後、協議 2 事務局より説明後、協議 3 事務局より説明	オンライン
3月8日	第 6 回 福祉の仕事 説 明 会	1 川崎市社会福祉協議会について（福祉の仕事・資格の案内） 2 施設でのケアの実際 3 福祉の現場からの声・質疑応答	参加者 ハローワーク川崎：12名 福祉パルあさお：12名	ハローワーク 川 崎 ・ 福 祉 パ ル あ さ お
3月13日	介護の仕事 プ レ 動 画	「介護の仕事って？」のパワーポイント資料に基づきプレ動画撮影	動画班班長ならびに事業協会 協力で動画撮影	て く の か わ さ き 会 議 室
3月26日	第 6 回	1 ハローワーク「福祉の仕事」説明会について 2 令和6年度ハローワーク「福祉の仕事」説明会について 3 介護の仕事紹介動画の作成について 4 人材定着アンケートについて 5 令和6年度事業計画（案）について	1 事務局、担当委員より説明 2 事務局より説明後、協議 3 事務局より説明後、協議 4 事務局、担当委員より説明 5 事務局より説明後、協議	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン

※他、人材に関する各種打合せを実施

⑤関東ブロック・首都圏・神奈川県等老人福祉組織関係

・関東ブロック老人福祉施設連絡協議会

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
4 月 3 日	第 1 回 関東ブロック 老人福祉施設 連絡協議会 代 表 者 会	1 令和4年度一般会計収支補正予算（案）について 2 令和5年度事業計画（案）について 3 令和5年度一般会計収支予算（案）について 4 令和5年度グループ別活動費助成要項（案）及び令和5年度都県市事業活動費助成要項（案）について 5 令和4年度グループ別活動助成金について 6 令和4年度都県市事業活動費助成金について 7 厚生労働省 社会保障審議会について 8 第58回関東ブロック老人福祉施設研究総会（群馬大会）の案内	清水会長	オンライン
6 月 29 日	第 2 回 関東ブロック 老人福祉施設 連絡協議会 代 表 者 会	1 令和4年度事業報告について 2 令和4年度一般会計収支決算について 3 令和5-6年度役員の選出について 4 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会各委員会委員長について 5 第58回関東ブロック老人福祉施設研究総会（群馬大会）について 6 生活基盤の保障について	清水会長	オンライン
9 月 13 日	第 3 回 関東ブロック 老人福祉施設 連絡協議会 代 表 者 会	1 第58回関東ブロック研究総会（群馬大会）について	清水会長	Gメッセ群馬
9 月 13 日 ～ 9 月 14 日	第 5 8 回 関東ブロック 老人福祉施設 研 究 総 会 （群馬大会）	1 オープニングアトラクション：高崎頼政太鼓 2 開会式典 3 基調報告 「今後の方針と介護報酬改定について」 全国老人福祉施設協議会 会長 大山知子氏 4 行政報告 「介護分野における最近の動向について」 厚生労働省老健局高齢者支援課 課長 峰村浩司氏 5 記念講演 「次に晴ればそれでいい」 スポーツキャスター 荻原次晴氏 6 分科会研究発表（15分×51題） 第1分科会第1分散会「認知症対応/医療・介護連携/看取り」 第1分科会第2分散会「自立支援（リハビリ・機能訓練、口腔、栄養）」 第2分科会「経営」 第3分科会「人材確保・育成・定着」 第4分科会「在宅・デイ」 第5分科会第1分散会「軽費老人ホーム・ケアハウス」 第5分科会第2分散会「養護老人ホーム」 ※川崎市からの研究発表はなし	参加人数： 902名	Gメッセ群馬

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
11月10日	都 道 府 県 指 定 都 市 老施協・デイ協 会 長 会 議 (関東ブロック)	1 全国老施協の令和5年度事業の実施状況について 2 令和6年度介護報酬改定に向けた取り組み 3 経営力の強化について 4 会員への情報提供力の向上について 5 その他	清水会長	オンライン

・首都圏高齢者福祉協議会
未実施

・神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会

県老施協委員：清水完敏氏（夢見ヶ崎）、白井裕一氏（富士見プラザ）、平山みちる（すえなが）、
関口英志氏（おだかの郷）、田邊亜佳音氏（片平長寿の里）

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
5月29日	第 1 回 委 員 会	1 委員の選任状況について 2 正副会長の選任について 3 令和4年度事業報告並びに収支決算（案）について 4 令和5年度補正予算（案）について 5 神奈川県高校生福祉研究発表会への優勝旗の寄贈について 6 課題別部会について 7 福祉サービス利用者意向調査キット利用料助成金について 8 第21回かながわ高齢者福祉研究大会進捗状況について 9 かながわ高齢者福祉研究大会事業の見直しについて	県老施協委員	県社会福祉センター
6月14日	第 1 回 総 会 ・ 第 1 回 研 修 会	1 任期満了に伴う委員改選について 2 正副会長の選任について 3 令和4年度事業報告並びに収支決算（案）について 4 令和5年度補正予算（案）について 5 神奈川県高校生福祉研究発表会への優勝旗の寄贈について 6 課題別部会について 7 福祉サービス利用者意向調査キット利用料助成金について 8 第21回かながわ高齢者福祉研究大会進捗状況について 9 かながわ高齢者福祉研究大会事業の見直しについて 【研修会】 テーマ： 神奈川県の特養の実態と介護報酬改定の動向 -介護報酬改定対応プロジェクト会議の報告- 講師： 社会福祉法人東の会 理事長 今井徹氏 株式会社川原経営総合センター 成田勝氏	県老施協 会員施設等	TKP 横浜

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
2 月 19 日	第 2 回 委 員 会	1 課題別部会について 2 第2回総会・研修会について 3 令和6年度事業計画および収支予算（案）について 4 令和6年度県社協政策提言活動への協力依頼について 5 かながわ高齢者福祉研究大会事業の見直しについて 6 各ブロックでの取組状況について	県老施協委員	県社会福祉 セ ン タ ー
3 月 10 日	第 2 回 総 会 ・ 研 修 会	1 令和6年能登半島地震義援金について 2 かながわ高齢者福祉研究大会事業の見直しについて 3 課題別部会について 4 令和6年度県社協政策提言活動について 5 令和6年度事業計画並びに収支予算（案）について 6 その他 【研修会】 テーマ： 令和6年度介護報酬改定について 講 師： 株式会社川原経営総合センター 成田勝氏	県 老 施 協 会 員 施 設 等	横 浜 ク リ ニ ッ ク ・ 横 浜 研 修 セ ン タ ー

・第21回かながわ高齢者福祉研究大会

実行委員：平山みちる氏（すえなが）、高橋照比古氏（太陽の園）、藤谷敬一郎氏（菅の里）、
和田泰明氏（すみよし）、古敷谷耕平氏（大師の里）

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
4 月 27 日	第 4 回 実行委員会	1 各種募集案内の開始について 2 高齢者福祉施設紹介コーナーのプログラムについて 3 係員派遣について 4 外国人実習生等に関する企画について 5 Twitter による広報活動について 6 係別確認事項について	実 行 委 員	県社会福祉 セ ン タ ー
6 月 15 日	第 5 回 実行委員会 ・ 実行委員・ 係員・審査員 合同説明会	1 参加者状況について 2 感染対策について 3 大会当日のタイムスケジュール・会場図について 4 係別打合せにおける確認事項について 5 その他 6 係別打合せ 大会運営・研究発表・介護技術発表・施設紹介 企業協賛各担当に分かれて合同説明会	実行委員・ 係員・審査員	崎陽軒本店
7 月 4 日	前 日 準 備	当日配布資料組み・研究発表会場設営等	実 行 委 員	パシフィコ 横 浜
7 月 5 日	第 21 回 かながわ 高齢者福祉 研 究 大 会	1 研究発表（15分×86題） 【テーマ1（食事・栄養・口腔ケア）】 ・みんなと暮らす町 「フレイル予防を意識した献立と食事提供」	会員施設等 参加人数： 約 1,200 名	パシフィコ 横 浜

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
		<p>・菅の里 「8年ぶりの経口摂取からのアプローチ ～新たな手法でQOLの向上を目指す～」 【テーマ2（排泄・入浴ケア）】</p> <p>・新緑の郷 「楽楽入浴介助～ウルトラファインバブルで 幸せいっぱい～」 【テーマ4（ターミナルケア・医療との連携）】</p> <p>・しゃんぐりら 「『苦しみ』と『やすらぎ』に向き合う～ 『痛み』のサインから学んだ看取り介護～」 ・鷲ヶ峰 「褥瘡の予防や改善に効果のある取組み」 【テーマ9（業務改善・ICT・介護ロボット等）】</p> <p>・すみよし 「何から始めれば良い？ICT～施設での実践的 ICT化とは～」 ・みんなと暮らす町 「虐待防止について～利用者の尊厳を守る ため～」 【テーマ10（人材育成・外国人人材の取組等）】</p> <p>・みんなと暮らす町 「障がい者雇用と仕事の切り出し～彼らが いないと困るんです～」 【テーマ12（その他[施設系]）】</p> <p>・潮見台みどりの丘 「新聞紙の再利用について」 【テーマ18（その他[居宅系]）】</p> <p>・かないばら苑訪問看護ステーション 「高齢者の腹膜透析『本人の想いを支える！』 ～コロナ禍における多職種連携の事業継続～」</p> <p>2 介護技術発表（15分×8題） 【移動介護部門】</p> <p>・金井原苑 「ご本人の気持ちを大切に、福祉機器の活用による安全な移動介護」</p> <p>3 高齢者福祉施設紹介コーナー 52施設</p> <p>・富士見プラザ ・太陽の園 ・陽だまりの園 ・みんなと暮らす町 ・金井原苑 ・潮見台みどりの丘</p> <p>4 ミニセミナー 「本音で伝える介護の仕事！－ 高齢者福祉施設での働き方や就職活動・実際に働く若手職員の声－」 ・片平長寿の里 ・潮見台みどりの丘</p> <p>※協賛出展・協賛広告等企業数 47 社 ※ロボット体験コーナー9 社</p>		

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
9 月 28 日	第 6 回 実行委員会	1 第 21 回大会優秀賞受賞施設並びに表彰式について 2 第 21 回大会実施報告（案）について 3 第 21 回大会執行見込について 4 第 21 回大会アンケート結果について 5 今後のあり方検討会委員の推薦状況について 6 第 1 回今後のあり方検討会の開催について	実 行 委 員	か な が わ 県 民 セ ン タ ー
9 月 28 日	研 究 発 表 優 秀 賞 表 彰 式	・すみよし 「何から始めれば良い？ICT・施設での実践的 ICT 化とは-」 ・新緑の郷 「楽楽入浴介助～ウルトラファインバブルで 幸せいっぱい～」 ・みんなと暮らす町 「フレイル予防を意識した献立と食事提供」	実 行 委 員 受 賞 者	か な が わ 県 民 セ ン タ ー

・ かながわ高齢者福祉研究大会今後のあり方検討会

委員：平山みちる氏（すえなが）、白井裕一氏（富士見プラザ）、藤田茂樹氏（藤英会）

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
10 月 19 日	第 1 回	1 本検討会について 2 かながわ高齢者福祉研究大会の開催経過について 3 検討事項及び今後の進め方について 4 その他	委 員	県社会福祉 セ ン タ ー
12 月 11 日	第 2 回	1 第 1 回検討会で挙げられた意見について 2 検討事項について 3 今後のあり方について 4 その他	委 員	県社会福祉 セ ン タ ー
2 月 9 日	第 3 回	1 検討内容を踏まえた企画案について 2 今後の進め方について (1) テーマについて (2) 地区推薦について (3) 一般向けの企画について 3 その他	委 員	県社会福祉 セ ン タ ー

・ 課題別部会

課題別部会委員：

【施設運営】白井裕一氏（富士見プラザ）、関口英志氏（おだかの郷）

【人材確保等】小林秀夫氏（新緑の郷）、岩壁信行氏（等々力）

【災害対応】山口皓史氏（生田まほろば）、稲垣仁久氏（わらく桃の丘）

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
12 月 18 日	施 設 運 営 に 関 する 部 会	1 リーダーの選任について 2 施設運営に関する課題について	部 会 委 員	県社会福祉 セ ン タ ー
12 月 7 日	人 材 確 保 等 に 関 する 部 会	1 リーダーの選任について 2 人材確保等に関する課題について	部 会 委 員	県社会福祉 セ ン タ ー

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
12月19日	災 害 対 応	1 リーダーの選任について	部 会 委 員	県社会福祉 セ ン タ ー
2月26日	に 関 する	2 災害対応に関する課題について		
	部 会	3 災害対応に関する研修会について		

各プロジェクト委員会の進捗状況について

1 災害プロジェクト委員会・防災班長会議

第 5 回災害プロジェクト委員会・防災班長会議 / 1 月 1 5 日（月）1 0 時～

≪協議概要≫

① 令和 5 年度第 2 回情報伝達訓練実施報告について

【実施概要】

日 時：令和 5 年 1 1 月 2 2 日（水）1 3 時 1 0 分～1 5 時

1 5 時 1 0 分～1 5 時 4 0 分【振り返り】

想定災害：令和 5 年 1 1 月 2 0 日（月）8 時 3 0 分発生

川崎市直下地震（最大震度 6 強）

ツ ー ル：E-Welfiss、防災無線機（MCA 無線）

訓練参加：福祉施設等 計 1 4 3 / 1 7 8 施設中

【振り返り】

E-Welfiss や防災無線機の操作習熟度を上げるために、定期的に操作する機会があるのは良いこと。

発災時に必ずしも操作に慣れた人がいるとは限らないので、より多くの人に訓練に参加してもらい、誰でも操作できるようになる必要がある。

災害時には通信状況が悪い場合もあるので、複数のツール（スマホやタブレット等）使用して連絡を行う必要がある。

防災無線機は、電波状況により音声途切れて聞き取れなかったり、全く繋がらない施設があったりしたので、実際の災害時に機能するか不安を感じた。E-Welfiss や電話などで補完する必要性を感じた。

事前に E-Welfiss を立ち上げることができたので、余裕をもって取り組むことができた。

② E-Welfiss の仕様について

- ・中原区で実施された情報伝達・物資移送訓練の振り返りで、「E-Welfiss のチャット機能は自動更新されず、自らが更新ボタンを押すことで新しい情報を受信できるシステムになっているが、自動更新されると良い」との意見が出ていた。緊急時に物資の種類・数量等の調整をする際には、リアルタイムな新着情報の更新が必要となってくるが、他の施設が発信した情報をすぐに確認できないため、円滑な調整ができないなど不便な点があり、発災時に活用できるのか不安に感じている施設もあるので機能を改善してほしいと、事業協会から市に要望を出している。

- ・12月の幸区の防災班長会議で、E-Welfiss のマップに、「ここの道路は通れない」といった情報を直接落とし込めると良いとの意見が出た。
- ・マップに区内の施設が一覧で表示されると位置関係が分かりやすい。

③ 各班の訓練の取り組み状況について

「川崎班」

第1回目の情報伝達・物資移送訓練は10月11日に実施し、前回報告済み。

第2回目情報伝達・物資移送訓練を1月16日に実施。会場は恒春園。

恒春園がE-Welfissで川崎班グループを立ち上げ、チャットで調整し、物資を移送する。

今回は受け渡しのみ行い、振り返りはzoomで行う。

「幸班」

12月15日に班会議を実施し、防災訓練への相互参加のため実施日を共有した。人員不足等の影響で小規模訓練に留まったので、他施設からの参加には至らなかった。施設によっては、町内会と消防署との訓練に利用者と参加しているところや、担架を使用して垂直避難の訓練をしているところもあるとのことだった。防災訓練の際に、消防署の参加協力を得ることが難しくなっている。

E-Welfissの活用について、奏デイはE-Welfissの登録もMCA無線の設置もない。有事の際は、近隣の“こむかい”と連携をとることにしているが、奏デイにも可能であればE-WelfissかMCA無線を設置できないか相談していこうということになった。

物資移送訓練を2月7日（水）午前中にクロスハート幸・川崎で実施予定だったのだが、日程を再調整しているところ。

水害による送迎車等の避難について、夢見ヶ崎公園の駐車場に優先して送迎車を置かせてもらうことができないか相談する予定。

「中原班」

11月22日にE-Welfissを活用した情報伝達・物資移送訓練を実施。

6施設が参加し、物資の移送は3施設が協力。

実際に能登半島地震のような災害が発生して道が寸断されてしまうと、物資を運ぶにしてもどうやって運ぶのかという課題があるので、どの道が使えるか等の情報を発信しながら、実際に即した訓練を積み重ねていくことができればと思っている。

「高津班」

第2回の訓練の日程調整中。相談員等、防災責任者以外の方に実働してもらう形にしたい。

「宮前班」

2月に宮前班会議を実施する方向で調整中。

E-WelfissもMCA無線も使うことで慣れていくことができるので、大掛かりにならない範囲で訓練を実施していく予定。

《多摩班》

2月6日に物資移送訓練を実施する。

会場は生田まほろばで、区内全施設が参加予定。

訓練後、多摩班会議を開催する。

次回以降の訓練内容について、各施設の所在地・移送経路の地図について、立地等から災害別に被害想定リスク等について検討。

《麻生班》

欠席のため報告なし。

※2月20日に柿生アルナ園を被災想定施設として情報伝達・物資移送訓練を実施する。

④ 施設間連携強化の取り組み

【目的】

川崎市内及び近隣他都市との実効性のある施設間連携を推進するため、他都市との情報交換や意見交換を実施する。

【情報交換先】

横浜市社協高齢福祉部会災害プロジェクト委員会

【進捗状況】

横浜市社協高齢福祉部会担当職員より

「12月中旬に災害プロジェクト委員会が開催された。川崎市社協施設部会老人福祉施設協議会災害プロジェクト委員会との意見交換会の実施について承認を得た。災害プロジェクト委員会の委員長たきがしら芭蕉苑の前田施設長に候補日を出してもらっているところ（3月になりそう）。」

【テーマ】

『 災害対応について 』

- ・ 横浜市内、川崎市内それぞれの施設間連携の状況（区内施設で連携して防災訓練を実施しているか等）や物資提供に関する約束事について情報共有
- ・ 情報伝達システムの課題や現状について
- ・ 指揮系統の課題について

《令和6年度取組み目標》

- ・ 横浜市社協高齢福祉部会災害プロジェクト委員会との意見交換会の実施
- ・ BCP策定および訓練実施の義務化に伴いBCPに基づく訓練等の研修の実施
- ・ 各防災班の取組みの充実化

2 人材プロジェクト委員会

第6回人材プロジェクト委員会 / 3月26日(火) 14時～15時15分

《協議概要》

① ハローワーク「福祉の仕事」説明会について

日 時：3月8日(金) 13時30分～14時30分

会 場：①ハローワーク川崎

②福祉パルあさお

参加施設：2 施設

(特別養護老人ホーム和楽館[デイサービスセンター]、特別養護老人ホーム新緑の郷)

参 加 者：①説明会12名(就職相談会12名)

②説明会12名(就職相談会12名)

(1) 川崎市社会福祉協議会(老人福祉施設協議会)について

福祉の仕事・資格の案内

(2) 施設でのケアの実際

講師：人材プロジェクト委員会 和田施設長

(3) 福祉の現場からの声

司会：人材プロジェクト委員会 吉野施設長

【ハローワークかわさき会場】



【福祉パルあさお会場】



② 令和6年度 HW 主催「福祉の仕事」説明会について

【全体】

○これまでどおりハイブリッド開催とする。

下記動画の作成が完了すれば、ハローワーク川崎会場もしくは北部会場（パル・エポック）をホストとし、もう一方は視聴のみとすることができる。

※ハローワーク川崎会場のネット環境が良くない（ルーターを使用しているが電波の入りが悪い）ため、北部会場をホストにすると良いかもしれない。

【講話1】『介護の仕事って？～人を支える喜び～』

○講話1については動画。各会場ごとに流してもらう。

●各会場で動画を流すことになったら参加委員は1名で良くなるかもしれない。

⇒ハローワーク職員と相談。

●令和6年度第1回目に動画作成が間に合わなかった場合はどうするか？

⇒神田委員がHW川崎会場にて講話を実施する。

【講話2】『福祉の現場からの声』

○講話2の内容はこれまでどおり協力施設の参加方法をオンラインのみとする。

●協力施設

今年度同様1回あたり2～4施設とする。

※多くなった場合には次回にお願いする。（今年度は3施設を超える申込みはなし）

※昨年度同様、協力施設が少ない状況は今年度も継続している。

1施設の申込みしかない、もしくは申込みが全くない場合には人材プロジェクト委員の皆様に近隣施設や同法人等への声掛けをお願いする。

協力施設にお願いする時間は

12:45～ ログイン（カメラ音声チェック）、

14:00～14:30 講話2（福祉の現場からの声）

※講話2開始5分程前にカメラをオンにしてもらうよう案内している。

終了後、退出。

【その他】

●当日の役割分担

南部会場：ハローワーク川崎

機材借用：施設事業推進課が人材バンクに借りる ⇒ 不要になるかもしれない。

機材用意・セッティング：ハローワーク川崎

※zoom 接続と動画を流すだけならハローワーク川崎の職員だけで大丈夫になるかもしれない。

zoom 操作（1名）：ハローワーク川崎

機材操作（1名）：ハローワーク川崎

北部会場：パル・エポック

機材借用：施設事業推進課が区社協に借りる

機材用意・セッティング：施設事業推進課、ハローワーク川崎北

zoom 操作（1名）：施設事業推進課

機材操作（1名）：施設事業推進課

講話②「現場からの声」司会：人材プロジェクト委員

日程	委員（南）	委員（北）
5/17（金）	神田委員 <hr/> ※ハローワーク川崎	岩壁副委員長 <hr/> ※福祉パルなかはら
7/19（金）	<hr/> ※ハローワーク川崎	平山副委員長 <hr/> ※福祉パルたかつ
9/13（金）	<hr/> ※ハローワーク川崎	古敷谷委員 <hr/> ※エポックなかはら
11/12（火）	<hr/> ※ハローワーク川崎	伊藤委員 <hr/> ※福祉パルみやまえ
1/17（金）	<hr/> ※ハローワーク川崎	茶園委員 <hr/> ※福祉パルたま
3/14（金）	<hr/> ※ハローワーク川崎	吉野委員 <hr/> ※福祉パルあさお

※は会場

③ 「介護の仕事」紹介動画作成について

3月13日（水）に、平山副委員長協力のもと PPT 資料をもとにプレのプレ動画を作成。

説明する中で資料の順番等気になる部分があったため修正。

プレ動画をもとに作成した原稿に目を通してもらい、加除修正の意見をもらうこととなったが、動画がないとイメージが付きにくいとのことで、事務局でプレ動画を作成し、それをもとに意見をもらうこととなった。

※すぐには意見が出ないため改めて出してもらう。

④ アンケート班バックオフィス総研コンサルティング合同会社との打合せについて

日 時：令和6年1月31日（水）17時～18時

会 場：オンライン（Zoom）

参加者：バックオフィス総研コンサルティング合同会社 山本様・前田様

新緑の郷 小林施設長（人材P委員長）、等々力 岩壁施設長（アンケート班長）

「前回打合せ内容の確認」

- ・人材定着に特化したアンケート
- ・ Google フォームを使って、①自施設の状況を知りたい場合にフィードバックできるようにすると共に、②川崎市における政策提言に向けた市域での傾向把握のため、自施設の状況を知りたくない施設にも協力してもらえよう設問数も変更していく。
- ・ アンケートの結果がどういう使われ方をするのかが不明瞭であると少ない設問数だとしても協力を得にくいので、目的・目標を明確にする必要がある。
- ・ 長くても10～15分で回答できるものにする。

「検討事項」

○タスク整理

- ・ 本アンケート実施の目標をどこに設定するか？

⇒管理者側と現場側で、同じことに対しても感覚が異なっていることがある。例えば、管理者側は育成のための研修を充実させていると考えていても、現場側はそう感じていないこともありうる。管理者側の多くは現場職員の本音を聞き出して、感覚のギャップを埋めたいと考えている。本音を引き出すことができれば、本当にアプローチすべきポイントが明確になり、的外れなアプローチをしなくなることも期待される。また、各施設で取り組むべき課題なのか、それとも制度的な課題なのか仕分けることができる。

→『人材定着』をテーマとして打ち出すが、本当のメインテーマは「職員の本音を引き出す」こととする。

⇒退職者と現役の職員（長年勤続）にアンケートを実施したいと考える理由として、どういった理由で辞めることにしたのかを把握して改善に努めると共に、おそらく誰もが一度は退職を考えたことがあると思うので、そこで踏みとどまって続けられた理由を把握したいから（そこは把握できていないその施設の強みである可能性があり、その力をのばしていくことができるかもしれない）。

・アンケートの設問をどうするか？

⇒個々のフィードバックを期待する施設とそうでない施設があるので、まずは大きな共通項目を設定し、それぞれのタイプの施設で設問数は変えることとする。

岩壁副委員長が作成したアンケートをベースに小林委員長と岩壁副委員長が相談して素案を作成していく。

- ・属性（勤続年数[3年以上・3年未満・退職]、経験・未経験、資格の有無など）
- ・人間関係（上司・同僚・部下との関係性）
- ・待遇（給与面 ※退職理由としてこの項目が多いとしたら川崎市へ政策提言する際のエビデンスにすることができる）
- ・育成環境（研修の充実やOJT環境）
- ・就業環境（時間外労働や休暇取得のしやすさ、人手不足による過負荷労働等）
- ・労働環境（場所的なもの、設備面、衛生面等）
- ・法人の方針（理念への共感など）
- ・その他（退職の要因、または周囲で退職した人の理由として考えられること等）

⇒大枠の基本項目（全施設に確認する部分）をまず作ってから+aで細かい設問を付加していく。

○今後のスケジュール

4月の施設長会でアンケート実施（企画概要）について提案。

目的・目標、対象、設問項目、実施スケジュール案、予算、プライバシーポリシー、成果目標の設定を4月までに確定させる。

その後、設問の内容を5月中に確定させ、6月頃にアンケートを流して1ヵ月間を目途に回収。

7月・8月頃に分析して、9月・10月頃に市への提言や各施設へのフィードバックを行う。

そのため、まずは素案を作成し、バックオフィス総研コンサルティングの山本氏・前田氏に

内容を確認してもらいブラッシュアップしてから、アンケート班会議を開催して確認したい事項等の意見を出してもらう。

⑤ 令和 6 年度人材プロジェクト委員会事業計画について

1 会議

奇数月第 3 水曜日の午後 2 時から開催（原則）

2 活動内容

(1) 人材プロジェクト委員会

- ① 各検討事項の共有及び協議、全体での事業実施
- ② 福祉人材バンク、総合研修センター、川崎市老人福祉施設事業協会等の関係機関との連携及び実施事業への協力

(2) 重点取組

人材発掘

- ① 小中学校、小中学生に向けての取組（ガイドブック広報・オンライン交流など）
- ② 高等学校、高校生、大学、大学生に向けての取組（キャリアガイダンスやアルバイト情報等の広報）
- ③ 地域の介護（福祉）人材発掘に向けた情報収集及び体制づくり（区社協等との協働）
- ④ 関係機関（ハローワーク等）との連携・協力ならびに「介護の仕事って？」の動画作成

人材確保

- ① 外国人介護人材に関する情報収集および情報提供

人材育成・定着

- ① 既に働いている職員を対象とした研修の検討や研修参加促進に向けた取組
- ② 既に働いている職員の定着を目的としたアンケートの実施およびフィードバック
- ③ 職員の負担軽減のための介護福祉機器・ロボットの導入について



介護の仕事って？

～人を支える喜び～



社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会
施設部会 老人福祉施設協議会
人材プロジェクト委員会

老人ホームの種類

要介護3～5の人が
入居

公 的
施 設

民 間
施 設

要介護者向け

○特別養護老人ホーム

(生活を支える施設)

○介護老人保健施設

○介護療養型医療施設

○介護付き有料老人ホーム

○住宅型有料老人ホーム

○グループホーム

自立した シニア向け

○ケアハウス
(軽費老人ホーム)

○サービス付き
高齢者向け住宅

高齢者福祉の様々な事業①

特別養護老人ホーム（入所）

… 介護を必要とする方の生活の場



ショートステイ（短期入所）

… 家で生活する介護を必要とする方が短い期間だけ施設に宿泊するサービス



高齢者福祉の様々な事業②

デイサービス（通所介護）

… 日帰りで施設に通って、食事や入浴、体操等を楽しむサービス



ホームヘルパー（訪問介護）

… 食事や入浴の介助、買い物や掃除の援助等を提供するサービス



高齢者福祉の様々な事業③

この他にも複数の事業を提供している施設がある

ケアマネジャー（居宅介護支援）

… 家でどんな介護サービスを受けるか計画を立てる専門職



地域包括支援センター

… 地域で暮らす高齢者に関する総合相談窓口

総合的な相談の支援

権利擁護



ケアマネジメント支援

介護予防ケアマネジメント



利用者を支える職員たち

報・連・相、情報共有

栄養士

看護職

機能訓練士

医師

調理員

運転手

事務員

ケアマネ

相談員

介護職

介護補助

その他にも・・・



専門職は専門的な視点と力を発揮して、専門職以外の職員とも連携しながらご利用者の生活を支えている。

生活の場だからやることはたくさん…

身だしなみ

着替え

移 動

口腔ケア

調 理

受診同行

食 事

運 転

入 浴

外 出

洗 濯

服 薬

掃 除

トイレ誘導

ティータイム

食器を洗う

レクリエーション

コミュニケーション



介護補助（介護助手）の大きな役割

「介護の仕事に少し興味はあるけど、資格をもっていないから働けないのでは…？」

そんなことはありません！

確かに

食事の介助や入浴の介助等、身体に触れる介護の仕事はヘルパー（介護職員初任者研修）や介護福祉士の資格が必要だけど…

それ以外にも仕事はたくさんあります！

例えば…

話し相手

趣味の手伝い

運転（送迎）

掃 除

ベッドメイキング

入浴準備

洗 濯

備品の準備

介護補助（介護助手）のお仕事の様子

リネン交換写真

掃除写真

入浴準備写真

レクと一緒に楽しむ
写真

職員の働き方も様々！

施設の介護職は利用者の暮らしを24時間・365日
切れ目なく、シフト制で支えています

働き方は様々

フルシフト

早番・日勤・遅番・夜勤の組み合わせ

※土・日・祝日含む

状況に
合わせて

夜勤のみ

早番のみ

遅番のみ

短時間パート

夜勤なし

時間は
施設によって
違います

他にも・・・

朝・夕のみ

※デイの送迎ドライバー

週3日
1日4時間

等々

介護の資格でキャリアアップ

資格は働き
ながらでも
取れます

施設によっては
資格取得の支援
もあります

資格

- ① 介護職員初任者研修
- ② 実務者研修
- ③ 介護福祉士
- ④ ケアマネジャー

一日の主なタイムスケジュール

時	6	8	10	12	14	16	18	20
特 養	モーニングケア	食事介助・口腔ケア 食事準備・配膳	入浴介助	食事介助・口腔ケア 食事準備・配膳	リハビリ・レク・ 体操・趣味の時間	おやつ・お茶	食事介助・口腔ケア 食事準備・配膳	ナイトケア
デ イ		送迎	入浴 レク・体操 趣味の時間	昼食	リハビリ レク・体操 趣味の時間	おやつ・お茶	送迎	

基本的な生活の流れは上記の通り。更に、移乗や移動、着脱、排泄、整容等々のケアが利用者の心身の状態に合わせて行われています。その他、間接業務として環境整備や記録、職種間の協議（カンファレンス等）、研修等も行われています。

一日の過ごし方はご利用者の心身の状態により様々

特養の一日①

○ モーニングケア
(洗面・整容)

整容写真

○ 食事・配膳風景



配膳写真

特養の一日②

○ 口腔ケア

ケア写真

○ 入浴



特養の一日③

○レク・体操

レク写真

レク写真

レク写真

レク写真

デイサービスの一日①

○レク・体操

○送迎

送迎写真

レク写真

体操写真

デイサービスの一日②

○ 食事・配膳

○ 入浴



食事写真

配膳写真

介護の仕事で大切なこと

知識

ケアの心

技術

知識や技術
も大切だけど…

気がかりと気遣いの「**温かい心**」が柱

利用者が求めていること

心身の健康と生活の **安心・安全** が守られ、
自分らしく人生を送り、**最期まで「自分らしく生き抜くこと」**
を支えてくれる人を必要としている



『**支援**』とは単にできないことをしてあげる
のではなく、
利用者が**自身の力を使って行動し、選択し、**
自己決定できるようにすること

ご家族からの声

ご家族のコメント動画

利用者の人生の最終章に

**「生活の場で支える意味と
価値のある仕事」を**

私たちと一緒に **「協働」** して
みませんか？

情報交換について

1 情報交換について

施設長会の際に、会員施設同士で情報交換、意見交換が出来る時間が限られており、平成 30 年度より施設長会と合わせて実施している。

老人福祉施設「協議会」という名のとおり、施設同士等で情報交換、意見交換が出来るテーマを設け、設定テーマに基づく 30 分程度（目安）の情報交換を実施します。

(1) 会員施設から情報交換のテーマを募集

〔情報交換のテーマ例：看取りの実施方法、加算の取得状況、職員の雇用形態 等〕

(2) 正副会長等会議において、会員施設から集約した情報交換テーマを確認し、施設長会での情報交換テーマを検討します。

(3) 施設長会の開催通知に、情報交換の設定テーマを記載し各施設へ連絡。

各施設には必要に応じて資料等をご用意いただきます。

2 令和 6 年度第 1 回施設長会の情報交換会のテーマについて

テーマ：「介護保険法の改正と報酬改定により示された国の方向性に特養はどう取り組む必要があるのか」

内 容：病院と特養の連携、介護福祉士養成の取り組み

3 過去の情報交換会テーマ一覧

【令和 3 年度】

6 月 16 日	アフターコロナの施設運営について
8 月 25 日	新型コロナウイルス感染症への対応について
10 月 20 日	With コロナの施設運営について
12 月 15 日	科学的介護情報システム「LIFE」について
動画配信	介護職員処遇改善支援補助金について

【令和 4 年度】

6 月 15 日	施設におけるコロナ対応について～第 6 波終了の今、第 7 波に備えて～
8 月 25 日	新型コロナウイルス第 7 波における各施設の課題、問題点、各施設との連携方法
10 月 19 日	I C T 機器の導入について
12 月 21 日	【中間報告】第 3 回神奈川県特養実態調査（川崎市版）について
2 月 15 日	施設運営における補助金の有効活用について～大規模修繕・コロナ対策など～

【令和5年度】

4月19日	災害について（各区の防災班長・副長について）
6月21日	新型コロナウイルス5類移行に伴う対応の変化について
8月23日	派遣職員と人材紹介事業所について
10月18日	派遣職員と人材紹介事業所について～part2～
12月20日	容態急変等による救急対応や看取りの現状について
2月21日	人材確保・災害対策・感染対策・事業所契約・利用者トラブル等、各施設で今年度一番対応に苦慮した事例について

川崎市社協「施設部会」 ホームページはじめました！



2024年6月1日
からパスワードが
変わります！

URL <https://csw-kawasaki.or.jp/shisetsu/>
貴施設パスワード

会員施設・そしてその施設で 働いている職員のみなさん！



「施設部会」のホームページはご存知でしょうか？

会員施設限定の研修動画や各種情報等にアクセスできます！

①

研修動画

施設部会や各協議会の研修動画を視聴できます！

②

資料ダウンロード

メールで送付していた開催通知や資料をダウンロードできます！

③

各種情報

国や川崎市からの情報、寄贈物品等のお知らせも確認できます！



法定研修一覧

No.	研修番号	研修タイトル	講師	講義時間	研修詳細
1.認知症及び認知症ケアに関する研修					
1	s054	認知症ケアの理解	田島 利子	55分12秒	◎
2	s108	認知症及び認知症ケア	山田 美代子	34分28秒	◎
3	15分-j01	認知症とは	高山 彰彦	12分16秒	
4	15分-j02	認知症における中核症状		12分34秒	
5	15分-j03	認知症における周辺症状		17分24秒	
2.プライバシーの保護の取り組みに関する研修					
6	s044	プライバシーの保護・個人情報取り扱いの理解	田島 利子	21分14秒	◎
7	s098	プライバシーの保護・個人情報取り扱いの理解	山田 美代子	37分16秒	◎
8	15分-24	個人情報の取り扱い	後藤 佳苗	12分59秒	
9	15分-j05	人権・プライバシー権・個人情報の理解	高山 彰彦	17分48秒	
10	15分-j06	プライバシー権と介護現場における個人情報との関係		9分56秒	
11	a66	個人情報の保護	口村 淳	96分57秒	
3.倫理及び法令遵守に関する研修					
12	s045	倫理・法令遵守の理解	田島 利子	24分54秒	◎
13	s100	法令遵守の理解	山田 美代子	24分25秒	◎
14	15分-71	利用者の人権と尊厳について	田島 利子	11分23秒	
15	a53	倫理及び法令遵守	後藤 佳苗	82分54秒	
4.事故発生の防止の研修					
16	s049	事故防止の知識	田島 利子	34分39秒	◎
17	s104	事故防止の知識	山田 美代子	26分53秒	◎
18	15分-04	高齢者の転倒予防	松本 健史	13分37秒	
19	15分-73	事故発生後の対応	渡邊 信介	18分31秒	
5.緊急時の対応に関する研修					
20	s050	緊急時対応の理解	田島 利子	13分24秒	◎
21	s105	緊急時対応の理解	山田 美代子	8分39秒	◎
22	M9-01	【介護技術動画】打撲、内出血の対応	大瀧 厚子	2分24秒	
23	M9-02	【介護技術動画】鼻血が出たときの対応		1分27秒	
24	M9-03	【介護技術動画】窒息時の対応		2分15秒	
25	M9-04	【介護技術動画】むせこみ時の対応	佐藤 彰紘	2分50秒	
26	M9-05	【介護技術動画】窒息時の対応		5分33秒	
6.感染症の予防及びまん延防止のための研修					
27	s107	感染症・食中毒の予防及び拡大防止の知識	山田 美代子	37分45秒	◎
28	15分-j21	感染症対策	高山 彰彦	17分59秒	
29	15分-j22	感染経路別対応		12分23秒	
30	a37	感染症の予防及びまん延防止（新型コロナウイルス含む）	田島 利子	105分46秒	
31	M7-01	【介護技術動画】マスクの装着（プリーツタイプ）	大瀧 厚子	2分53秒	
32	M7-02	【介護技術動画】立体型のマスクの装着		1分03秒	
33	M7-03	【介護技術動画】手袋の着け外し		3分00秒	
34	M7-04	【介護技術動画】手洗い		3分43秒	
35	M7-05	【介護技術動画】嘔吐物の処理		9分38秒	
7.食中毒の予防及びまん延防止のための研修					
36	s053	食中毒の予防とまん延防止	田島 利子	24分14秒	◎
37	15分-94	食中毒の知識	大瀧 厚子	17分06秒	
38	a64	食中毒予防及びまん延防止	田島 利子	88分55秒	
8.身体拘束の適正化のための研修					
39	s102	身体拘束排除の知識（※施設向け）	山田 美代子	35分22秒	◎
40	15分-55	身体拘束防止の具体策	榊原 宏昌	14分34秒	
41	15分-62	身体拘束を行ってはいけない理由		12分52秒	
42	15分-92	身体拘束の基礎知識	金沢 善智	13分05秒	
43	15分-104	身体拘束をしないための具体策	田島 利子	15分44秒	
44	a61	高齢者虐待防止～身体拘束廃止～		92分44秒	
9.非常災害時の対応に関する研修					
45	s051	非常災害時の対応	田島 利子	16分16秒	◎

46	s106	非常災害時の対応	山田 美代子	13分26秒	◎
10.医療に関する教育、研修					
47	s010	医療連携に必要な知識と技術	大瀧 厚子	282分57秒	◎
48	s059	介護職のための病気と薬の基礎講座	後藤 佳苗	219分50秒	◎
49	s116	からだところの理解 ～医学的な知識を身に着け、利用者の置かれている状況を理解しよう～	兵頭 甲子太郎	203分06秒	◎
50	s133	老化を知る「からだ」	渡辺 修一郎	104分36秒	◎
11.看取り（ターミナルケア）に関する研修					
51	s038	ターミナルケア基礎研修	大瀧 厚子	272分10秒	◎
52	s079	看取りケア研修実践編	田島 利子	313分07秒	◎
53	a36	看取り期の利用者への寄り添い方	加藤 慶	91分55秒	
12.精神的ケアに関する研修					
54	15分-j36	精神疾患について	高山 彰彦	13分54秒	
55	15分-j37	うつ病の対応について		11分09秒	
13.虐待の防止のための研修					
56	s048	虐待防止に関する理解	田島 利子	23分35秒	◎
57	s078	介護施設・居住施設の効果的な虐待防止の具体策	榊原 宏昌	92分02秒	◎
58	s103	虐待防止に関する理解	山田 美代子	35分45秒	◎
59	15分-75	高齢者支援を行う対人援助職の倫理	後藤 佳苗	16分25分	
60	a35	高齢者施設における高齢者虐待防止と権利擁護	梅沢 佳裕	97分47秒	
14-1.管理者向けBCP研修					
61	s088	BCP（事業継続計画）及び災害時対応研修	大塚 克巳	163分00秒	◎
62	s132	介護事業者のための 災害・感染症 BCPセミナー（入門編）	將司 覚	61分19秒	◎
63	a63	自然災害・感染症BCP策定（実践編）講座		102分52秒	
14-2.職員向けBCP研修					
64	15分-137	事業継続計画（BCP）とは	將司 覚	13分27秒	
65	a48	非常災害時対応		84分01秒	
15.褥瘡対策に関する継続的教育					
66	s061	褥瘡予防のための状況別ポジショニング	加島 守	178分07秒	◎
67	15分-23	褥瘡発生のメカニズムとずれについて		15分06秒	
16.ハラスメント対策研修					
68	s021	ケア従事者のためのハラスメント構造の理解とその対処法	品川 博二	157分55秒	◎
69	15分-127	パワハラを理解する	榊原 宏昌	15分14秒	
70	a41	適切な指導とパワハラ防止		92分17秒	

[リンク](#)

■令和5年度 Zoomオンライン研修 年間予定（加入者は受講料 無料）

新かながわ高齢者福祉研究大会 企画書（案）

◇大会テーマについて

どんな大会として開催するか分かりやすく、かつ興味を引く呼びかけとする。

◇発表テーマについて

大会テーマにつながる発表テーマを概ね4テーマ掲げエントリーを募る。

4テーマに加え、介護技術発表についても募る（テーマは要検討）。

（※従来のように幅広いテーマ設定ではなく、より先駆的なテーマを掲げる。）

（※施設単独ではなく大学や関係者とのコラボエントリーも可とする。）

◇研究発表数

県大会へのエントリーは各ブロックからの地区推薦を得ることとし、各推薦題数については、ブロックの施設数を鑑みたものとする。

（※想定数1テーマ8題×4テーマ＝最大32エントリー）

（※介護技術1テーマ×8題＝8エントリー）

◇審査について

施設関係者に限らず、そのテーマにつながる専門性の高い方を審査員とする。

（※従来の施設長、職員等ではなく、その分野に精通した方を審査員とする。）

（※なぜその発表が優れているか等、講評などにより次への示唆に富んだコメントを付記できるようにする。）

◇会場について

パシフィコ横浜を会場とする。

（エントリー数を絞ることによってレンタルスペースは限定する。）

◇情報発信について

アーカイブ配信やオンライン、SNSの活用など当日及び前後も含めた総合的な情報発信のあり方について工夫する。

（※もっと多くの方の目に触れるように、出演者、プロの技術者やメディアの活用等も検討し、これまでにない発信方法も視野に入れる。）

◇開催スケジュール

頻度：隔年開催（奇数年）		時期：7月	次回開催年：令和7年度
令和6年度	4月	・第4回あり方検討会 大会テーマ及び演題の決定	
	6月	・第1回総会にて会員施設へ共有する	
	7月以降	・実行委員会の立ち上げ	
		・4ブロックへ演題募集の呼びかけ （地区ごとに推薦方法の検討）	
	3月中旬	・演題募集締切	
令和7年度	4月	・開催周知	
	6月中旬	・参加募集締切	
	7月	・開催	
		・次回大会のテーマ及び演題の発表	
令和8年度	5月	・実行委員会の立ち上げ	
	7月	・4ブロックへ演題募集の呼びかけ （地区ごとに推薦方法の検討）	
		・演題募集締切	
	3月中旬	・開催周知	
令和9年度	4月	・参加募集締切	
	6月中旬	・開催	
		・次回大会のテーマ及び演題の発表	
	7月	・開催周知	

令和5年度県社協老人福祉施設協議会・課題別部会進捗状況

テーマ	1 施設運営	2 人材確保等	3 災害対応
担 当 副 会 長 委 員	阿部匡秀副会長 県域 井上 政江委員 川瀬 和一委員◎ 横浜 家鍋 雄一郎委員 伊藤 俊吾委員 川崎 白井 裕一委員 関口 英志委員 相模原石橋 正和委員 金澤 敬祐委員 9名	清水完敏副会長 県域 森 弘樹委員 関田 智彦委員 横浜 水越 洋二委員 戌亥 友孝委員 川崎 小林 秀夫委員◎ 岩壁 信行委員 相模原坂本 陽二郎委員 大塚 健輔委員 9名	前田卓哉副会長 県域 小泉 昇委員 久保谷 和明委員 横浜 生田 純也委員 碓井 義彦委員◎ 川崎 山口 皓史委員 稲垣 仁久委員 相模原横井 顕委員 田村 政喜委員 9名
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・4ブロックにおける施設経営実態や運営上の課題について情報共有を行う。 ・情報共有をもとに、全県協働の課題や喫緊の課題に関する4ブロック共通項目での調査の実施や訴求活動の実施について検討や提案を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4ブロックの人材確保・育成状況等の実態を共有する。 ・4ブロックの人材確保・育成等に向けた対策・施策を共有する。 ・個別の法人・施設単独では実施が難しい講演会や就職相談会など、施設連携のもと全県協働により推進可能な事業の検討や提案を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4ブロックにおける行政との連携等の災害対応状況について情報を収集し共有する。 ・各施設単位での自助（BCP、BCM）の取り組みを確立できるよう研修会の検討や提案を行う。 ・自助の取り組みを確立した上で、共助による災害対応の在り方について検討する。
進捗状況	<p>○ブロックごとの訴求活動の状況や施設運営上の課題について情報共有を行った。</p> <p>○待機者の減少傾向や物価高騰をはじめとする厳しい経営状況への対応等について全県での共通課題を整理し、必要な取組を検討する。</p> <p>○待機者多数で入所できないといった誤った情報によって入所希望者が有料老人ホーム等に流れてしまっている状況がみられるため、実情を知ってもらうようなPR方法について検討していく。</p>	<p>○【すそ野の拡大】【採用】【定着・育成】それぞれにおける課題や取組状況について共有を行った。</p> <p>○介護の仕事を知る機会の設け方やPR・周知方法の工夫等について、対象を整理しながら全県での取組について検討する。</p> <p>○人材が足らずに満床稼働できていない施設があったり、派遣職員紹介事業所への高額な紹介手数料が財政を圧迫している状況がみられるため、SNSや転職サイト等を活用した有効な人材確保手段を検討していく。</p>	<p>○施設、ブロックでの取組状況について情報共有及び全県での取組について検討。</p> <p>○実行性のあるBCPの運用（訓練等）についてや福祉避難所としての役割、被災施設の経験談等を通して災害対策について考える機会として研修会を企画する。</p> <p>⇒令和6年6月頃開催予定 また、各施設が取り組んでいけるような仕組みを提案できるように検討していく。</p>
令和5年度 開催状況 今後の予定	12月18日	12月7日	12月19日 2月26日

令和 6 年度 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会 第 1 回代表者会 議事報告

日 時：令和 6 年 4 月 11 日（木） 14 時～16 時

会議形式：zoom によるオンライン会議

参 加 者：清水会長、事務局（廣瀬課長、鈴木）

1 開 会
事務局より

2 会長挨拶
田邊会長（千葉県）より挨拶
大山全国老施協会会長より挨拶

3 議長選出
事務局より代表者総数 30 名中 26 名が参加しているため定足数を満たしたことを報告
会則第 7 条 3 項に基づき議長は会長が務める

4 議事録署名人
静岡県 種岡会長 千葉県 福田会長

5 議 事
議案第 1 号 令和 5 年度都県市事業活動費助成金について ※資料割愛
実施された事業の関係で 3 月 13 日に開催した正副会長会議後に提出された助成金申請書
について事務局より説明後、承認
議案第 2 号 令和 5 年度一般会計収支補正予算（案）について ※資料割愛
事務局より説明後、承認
議案第 3 号 令和 6 年度事業計画（案）について ※資料割愛
事務局より説明後、承認
議案第 4 号 令和 6 年度一般会計収支予算（案）について ※資料割愛
事務局より説明後、承認
議案第 5 号 令和 6 年度グループ別活動費助成要項（案）及び令和 6 年度都県市事業活動
費助成要項（案）について ※資料割愛
事務局より説明後、承認
※例年 2 月中旬に提出期限を設定しているが、2 月下旬から 3 月上旬に提出する団体が
多いため、2 月下旬を申請書提出期限に変更

6 報告事項
（1）令和 5 年度グループ別活動助成金について ※資料割愛
事務局より 1 件の申請があり 3 月 13 日の正副会長会議で承認されたことを報告
（2）令和 5 年度都県市事業活動費助成金について ※資料割愛
事務局より 15 件の申請があり 3 月 13 日の正副会長会議で承認されたことを報告

7 第 59 回関東ブロック老人福祉施設研究総会 長野大会について
長野県高齢協 萱垣会長より挨拶
坂内実行委員長より開催要項に基づいて開催趣旨・日時・会場・大会スケジュール等を説明
長野県高齢協 樋口事務局長より参加者目標数（対面開催の過去 2 大会の参加割合をもとに
計算）と分科会発表テーマ割当てについて説明
⇒会費は何円を予定しているか？
→群馬大会と同様 12,000 円を予定している

⇒長野大会に限ったことではないが、関ブロ研究総会の優秀発表を全国大会（今年度は滋賀大会）に推薦する流れだが、全国大会への旅費は各施設で負担（都県市協議会で一部負担しているところもあるが）してもらうとなると、開催都市が遠方で旅費負担が大きくなると、参加を辞退したいと言う施設も出てくる

関東ブロックの代表として全国大会に良い研究発表を推薦するためにも、関ブロ協議会から全額でなくて良いので旅費等の補助をしてもらうことはできないか？

→予算も限られているため、関ブロ協議会事務局で検討し正副会長会議で諮問して代表者会で報告するという形をとらせてもらう。

8 令和6年度介護報酬改定について ※別添資料参照

厚生労働省社会保障審議会介護給付費分科会委員である群馬県老施協の古谷会長より「令和6年度介護保険制度と介護報酬改定について」の資料に基づき説明

⇒保育園は食事の関係の加算があがっているのだが、高齢者施設は加算が上がらなかった理由は何にかあるのか？

→厚労省の回答を単純に言うと、見る指標が違うというところで、令和5年度の経営実態調査と令和2年度の経営実態調査において食材費の差がなかった。一方で医療報酬等については家計調査を見るため増額する。不思議なのが光熱水費については家計調査で見ると増額するという点。食材費についても家計調査で見てほしいと訴えたが、事情は理解できるものの実態調査の指標に差がないのでの一点張りだった。今後、収支状況調査の即材費や委託費といった指標を細かく分析して訴えていく必要があると感じている

9 その他

大山全国老施協会会長より

令和6年度の賃金の処遇改善も含めてだが、実態的に経済スライドとどのくらいの差が出るかということ、国はおそらく令和7年度に比較調査のアンケートを実施することになると思うそれが次の介護報酬改定の際のデータベースとなって、民間との格差が広がることは国も良くないと考えてはいるので、データのためのアンケート調査にぜひ協力してほしい

令和6年3月25日

関東ブロック老人福祉施設連絡協議会
各都県市代表者及び事務局長 様

第59回関東ブロック老人福祉施設研究総会 長野大会
大会会長 萱垣 光英
大会実行委員長 坂内 孝之

第59回関東ブロック老人福祉施設研究総会 長野大会
に係る「分科会」発表者・施設の推薦について（依頼）

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、次回開催される関東ブロック老人福祉施設連絡協議会において、ご承認
いただく予定ではございますが、標記大会における分科会の発表者について、下記に
よりご推薦いただきたいので、格別なるご配慮をお願いいたします。

つきましては、本大会の趣旨をご理解いただき、ご多忙の折、誠に恐縮ですが、
別紙「分科会発表者・施設 推薦書」により、令和6年5月7日（火）までに、
本大会の事務局（（一社）長野県高齢者福祉事業協会事務局）あて、メールにより、
ご推薦されるようお願いいたします。

なお、ご推薦いただきました発表者・施設には、当事務局より、資料の提出方法等
の詳細について、改めてご案内申し上げる予定ですので承知おきください。

記

- 1 大会日程 令和6年10月3日（木）～4日（金）
【分科会：第2日目】 10月4日（金）9:00～12:30
- 2 分科会会場 ホテルメトロポリタン長野ほか
（JR 長野駅隣接）
- 3 依頼内容 別紙「分科会テーマの内訳」及び「分科会テーマ都県市割当て
一覧」をご参照願います。
（なお、分科会のテーマ項目は、令和5年度開催の関ブロ群馬大会の
項目と、ほぼ同一であることを申し添えます。）

【留意事項】

- ・発表テーマの均一化を図るため、過去の発表状況を参酌して、
各都県市にテーマの割り当てをいたしました。
（できる限り、依頼したテーマ項目でのご推薦をお願いします。）
- ・他の都県市のご推薦の提出状況によっては、テーマや題数が変更にな
る場合がございますので、ご了承ください。
- ・発表に要する時間は、1題あたり15分以内を予定しております。
- ・複数名による発表も可能です。
- ・パワーポイントを使用しての発表となりますので、ご留意願います。

- 4 提出先 一般社団法人 長野県高齢者福祉事業協会事務局あて
メールアドレス：jimukyoku@naganokfk.jp
- 5 経費負担 発表者様の「参加費」のみ、主催者にて負担いたします。
- 6 その他 発表事例の中から選考審査により、滋賀県で開催される予定の
全国老人福祉施設大会・研究会議へ、関東ブロック代表として
推薦させていただきます。

【関ブロ長野大会事務局】

一般社団法人 長野県高齢者福祉事業協会 事務局

〒380-0936 長野市中御所岡田 9 8 - 1 長野保健福祉事務所庁舎内

TEL : 026-228-5005 FAX : 026-228-5045

E-mail : jimukyoku@naganokfk.jp

第 59 回関東ブロック老人福祉施設研究総会 長野大会 分科会 発表者・施設 推薦書

令和 6 年 月 日

都県市名	ご担当者名	
E-mail		
連絡先	TEL	FAX

※各都県は発表 4 施設程度、各市は発表 2 施設程度をご推薦ください。
 ※発表内容は 60 文字程度で分かりやすくご記入ください（大会要項等に掲載します）。
 ※令和 6 年 5 月 7 日（火）までに E-mail によりご提出願います。

（１）施設名		分科会	第 分科会
施設種別（○を付す）	特養・養護・軽費ケア・デイ・その他（ ）		
フリガナ 発表者氏名（職種）	① （ ） ② （ ）		
施設の所在地・ 連 絡 先	住所 〒	Tel	
	E-mail	FAX	
発表内容 （予 定）			

（２）施設名		分科会	第 分科会
施設種別（○を付す）	特養・養護・軽費ケア・デイ・その他（ ）		
フリガナ 発表者氏名（職種）	① （ ） ② （ ）		
施設の所在地・ 連 絡 先	住所 〒	Tel	
	E-mail	FAX	
発表内容 （予 定）			

(3) 施設名		分科会	第 分科会
施設種別 (○を付す)	特養・養護・軽費ケア・デイ・その他 ()		
フリガナ 発表者氏名 (職種)	① () ② ()		
施設の所在地・ 連絡先	住所 〒	Tel	
	E-mail	FAX	
発表内容 (予定)			

(4) 施設名		分科会	第 分科会
施設種別 (○を付す)	特養・養護・軽費ケア・デイ・その他 ()		
フリガナ 発表者氏名 (職種)	① () ② ()		
施設の所在地・ 連絡先	住所 〒	Tel	
	E-mail	FAX	
発表内容 (予定)			

(5) 施設名		分科会	第 分科会
施設種別 (○を付す)	特養・養護・軽費ケア・デイ・その他 ()		
フリガナ 発表者氏名 (職種)	① () ② ()		
施設の所在地・ 連絡先	住所 〒	Tel	
	E-mail	FAX	
発表内容 (予定)			

関東ブロック老人福祉施設研究総会長野大会 「分科会テーマの内訳」

分科会名	テーマ項目	発 表 テ ー マ 事 例	
第 1 分科会	認知症対応/ 医療・介護 連携、看取り	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケア ・個別ケア ・家族支援への取り組み ・転倒予防・事故防止への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りケア ・医療・介護等多職種の連携 ・誤嚥予防の取り組み ・褥瘡等皮膚トラブルへの対応 ・コロナ・感染対策 など
第 2 分科会	自立支援 (リハビリテ ーション・ 機能訓練、 口腔、栄養)	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援介護 ・重度化防止の取り組み ・記録の活用とアウトカム評価 ・排泄ケア ・入浴ケア 	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケア ・栄養マネジメント ・機能訓練とリハビリテーション ・アクティビティ・レクリエーション など
第 3 分科会	経 営	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人戦略（経営・運営） ・経営の合理化・適正化 ・稼働率アップや加算取得戦略 ・2040 年を見据えた経営戦略 ・地域における公益的な取り組みの実践 ・物価高騰への対応 ・医療と介護の連携 ・補助金を活用した事業展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉連携推進法人の活用による経営の 効率化 ・地域医療介護総合確保基金を活用した事業 展 開 ・小規模法人のネットワーク化事業による経営 効率化 ・社会福祉法人の利用者負担軽減の取り組み ・アフターコロナへの対応 など
第 4 分科会	人材確保・ 育成・定着	<ul style="list-style-type: none"> ・介護人材採用戦略 ・介護人材育成と定着 ・潜在介護福祉士の復職支援 ・働き方改革とアクティブシニア ・介護職の魅力の見つけ方と伝え方 ・ユニークな福利厚生、採用方法 ・上司、職員のコミュニケーションの取り方 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人介護人材の受け入れ制度の課題と対応 ・外国人介護人材定着と活用への課題と対応 ・従事者の働きやすい環境づくり ・モチベーションにつながるキャリアパスの形成 ・ロボット導入による業務効率化 ・技能実習・特定技能制度の活用と展望 ・地域と連携した人材確保 など
第 5 分科会	在宅・デイ	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT・LIFE 導入への取り組み ・魅力ある在宅サービスと生き残り戦略 ・多職種協働による中重度化への対応と重度 化防止の取り組み ・地域での栄養ケアの実態とフレイル予防 ・自立支援・ADL 改善や ICF に基づくケア ・相談支援機能を発揮した地域におけるソー シャルワーク活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命延伸に向けた総合事業・地域支援 事業への取り組み ・機関協働による認知症予防や地域生活課題 への対応 ・実効性のあるBCP の策定と具体的な取り組み (PDCA) ・生産性向上による在宅サービスの新たな価値 創造 など

第 6 分科会	軽費老人 ホーム・ ケアハウス	<ul style="list-style-type: none"> ・入所者の健康寿命の延伸・フレイル予防 ・食べる楽しみと栄養改善に向けた取り組み ・認知症ケア、高齢障害、精神障害、慢性疾患（難病を含む）の方への対応 ・高齢者の住まい確保に関する取り組み ・変わる利用者像への対応と家族との関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者確保に関する取り組みや広報戦略 ・生活保護や生活困窮者自立支援法等に関する取り組み ・医療との連携や看取りの取り組み ・地域貢献・地域連携の取り組み ・職員の人材確保と育成・定着の取り組み など
第 7 分科会	養護老人 ホーム	<ul style="list-style-type: none"> ・入所者の健康寿命の延伸・フレイル予防 ・食べる楽しみと栄養改善に向けた取り組み ・認知症ケア、高齢障害、精神障害、慢性疾患（難病を含む）の方への対応 ・触法入所者への支援や自立準備ホームの運営 ・契約入所や高齢者の住まい確保に関する取り組み ・入所者確保に関する取り組みや広報戦略 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護や生活困窮者自立支援法等に関する取り組み ・医療との連携や看取りの取り組み ・地域貢献・地域連携の取り組み ・ICT の活用や生産性向上の取り組み ・BCP（自然災害・感染症）の策定と具体的な取り組み ・経営の適正化や人材確保に関する取り組み など

関ブロ長野大会 分科会テーマの都県市割当て一覧

	都県市名	依頼数	第1分科会 【認知症対応/ 医療・介護連携 、看取り】	第2分科会 【自立支援 (リハビリテーショ ン・機能訓練、 口腔、栄養)】	第3分科会 【経 営】	第4分科会 【人材確保・ 育成・定着】	第5分科会 【在宅・デイ】	第6分科会 【軽費老人ホーム・ ケアハウス】	第7分科会 【養護老人ホーム】
1	茨城県	4	○		○		○	○	
2	栃木県	4		○		○	○		○
3	群馬県	4	○		○	○		○	
4	埼玉県	4		○	○	○			○
5	さいたま市	1							○
6	千葉県	4	○	○			○	○	
7	千葉市	2	○		○				
8	東京都	5	○	○	○			○	○
9	神奈川県	4		○	○	○		○	
10	横浜市	2		○					○
11	川崎市	1					○		
12	相模原市	1				○			
13	新潟県	4	○		○		○	○	
14	山梨県	4		○	○	○			○
15	静岡県	4	○			○	○		○
16	長野県	5	○	○		○	○	○	
発表数計		53	8	8	8	8	7	7	7

注) 割り当てられた分科会テーマごとに1施設の推薦をお願いします。

メインテーマ

新たな介護スタイルの創造

～デジタル技術を活用した介護の未来と新スタンダードの構築～

開催趣旨

令和22年(2040年)頃までに高齢者数は大幅に増加し、高齢化率の上昇が続くと予想されている中で、逆に生産年齢人口は減少する傾向にあって、介護人材不足が一層深刻化するであろうと言われております。

また、長期間にわたり疲弊させられた新型コロナウイルス感染症やじわじわと継続している物価高騰の影響等によって、高齢者福祉・介護業界を取り巻く環境は、経営面等でも厳しさを増しております。

折しも、介護ロボット・ICTの効果的な活用等により介護現場の生産性の向上が図られ、デジタル技術を活用した介護の未来が展開されつつあります。そして第9期介護保険事業計画が策定され始動いたしました。

そこで、関東ブロック大会からの発信を、全国老協会員の皆様とともに共有して、より一層の組織力を図るために研鑽してゆくことが求められます。本大会は、対面開催が復活して2回目となり、介護に携わる者が一堂に会して横の繋がりを深め、積極的な情報交換が行われることで、新たな介護スタイルを学び、参加者各人がそれぞれの介護現場に戻って新スタンダードを構築していくことを期して開催するものです。

開催期日

令和6年10月3日(木)～4日(金)

会場

全体会

ホクト文化ホール(長野県県民文化会館)

長野市若里1-1-3 [Tel:026-226-0008](tel:026-226-0008)

分科会

① ホテルメトロポリタン長野

長野市南石堂町1346 [Tel:026-291-7000](tel:026-291-7000)

② シャトレゼホテル長野

長野市鶴田高畑752-8 [Tel:026-225-7812](tel:026-225-7812)

主 催

公益社団法人全国老人福祉施設協議会
 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会
 一般社団法人長野県高齢者福祉事業協会

後 援 (予定)

長野県
 長野市
 社会福祉法人長野県社会福祉協議会

大会スケジュール (予定)

<令和6年10月3日(木)>

【全体会】

11:30～12:20	受付
12:20～12:50	オープニングアトラクション 長野日本大学高等学校 吹奏楽部

13:00～13:55	開会式典 <ul style="list-style-type: none"> ・開会のことば ・主催者あいさつ ・感謝状贈呈 ・来賓祝辞 ・来賓紹介 ・主催者紹介 ・閉会のことば
-------------	---

14:00～14:30	基調報告 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 会長
14:30～15:00	行政報告 厚生労働省

15:15～16:15	記念講演 (未 定)
-------------	------------

16:20～16:30	次回開催県紹介 (東京都)
16:30	終了

<令和6年10月4日(金)>

【分科会】

8:45～9:00	受付
9:00～9:10	オリエンテーション
9:15～12:25	分科会

(分科会テーマ)

高齢者福祉に関する7つのテーマについて、分科会を開催し、発表・討議される。

令和 5 年度 福祉のお仕事ミニ説明会（座談会）・就職相談会

各回参加事業所：ハローワーク川崎 6 事業者、ハローワーク北 6 事業者
（ハローワーク川崎、ハローワーク北と共催）奇数月開催 年 6 回

参加事業所数総計 37 事業所

○採用実績：ハローワーク川崎会場 4 件、ハローワーク川崎北会場 6 件 合計 10 件

○採用職種：訪問介護 1 件、介護補助 1 件、介護職 7 件、送迎ドライバー 1 件

①令和 5 年 5 月 19 日（金）

<参加者>

ハローワーク川崎会場：17 名（相談件数 11 件）

福祉バルなかはら会場：23 名（相談件数 10 件）

②令和 5 年 7 月 14 日（金）

<参加者>

ハローワーク川崎会場：24 名（相談件数 21 件）

福祉バルたかつ会場：19 名（相談件数 6 件）

③令和 5 年 9 月 15 日（金）

<参加者>

ハローワーク川崎会場：18 名（相談件数 13 件）

総合福祉センター会場：23 名（相談件数 19 件）

④令和 5 年 11 月 8 日（水）

<参加者>

ハローワーク川崎会場：12 名（相談件数 19 件）

福祉バルみやまえ：13 名（相談件数 17 件）

⑤令和 6 年 1 月 19 日（金）

<参加者>

ハローワーク川崎会場：26 名（相談件数 13 件）

福祉バルたま：22 名（相談件数 13 件）

⑥令和 6 年 3 月 8 日（金）

<参加者>

ハローワーク川崎会場：12 名（相談件数 20 件）

福祉バルたまあさお：12 名（相談件数 12 件）

<参加者の声>アンケート一部抜粋

- ・聞きたいことがしっかり聞くことができてよかったです。
- ・座談会で色々質問できたので、理解が深まった。
- ・様々な事業所の方々の話を直接聞けて、とても有意義でした。
- ・介護＝大変と想像していたが、直接お話を聞き大変なことばかりではないと安心した。

<事業所の声>アンケート一部抜粋（座談会について）

- ・中途採用で未経験の方がどのような点を気にしているのか、座談会で実際のお話を通して学ばせていただきました。
- ・質問するのが苦手な方も、他の方からの質問を聞いて答えを知ることができるので座談会の良さが出ていると思います。
- ・直接、求職者の方々と対話できる機会として、まずは敷居を低くしてやり取りができる点で、座談会は大変有効と考えます。



ハローワーク川崎会場：座談会



ハローワーク川崎会場：就職相談会



3/8 ハローワーク川崎会場：参加法人の皆様



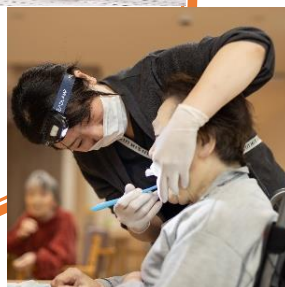
ハローワーク川崎北：座談会



ハローワーク川崎北：就職相談会

令和6年度

福祉のお仕事 ミニ説明会(座談会)・ 就職相談会 参加事業者募集!



みなさまお待ちしております♪

川崎市内の福祉人材確保を図るため、福祉分野(主に介護)に関心のあるハローワーク求職者と川崎市内の施設事業者との小規模の説明会・相談会(グループ座談会)を6回開催します。

相談会では、座談会形式にて事業者からの求人情報やPRをお話しいただけます。

その後希望者との個別相談を予定していますので、ぜひお申込み下さい。

	会 場	日 程	申込締切り
第1回	● ハローワーク川崎 ● 福祉パルなかはら(中原区社会福祉協議会)	5月17日(金) 14時30分～16時00分	4月15日
第2回	● ハローワーク川崎 ● 福祉パルたかつ(高津区社会福祉協議会)	7月19日(金) 14時30分～16時00分	6月15日
第3回	● ハローワーク川崎 ● 川崎市総合福祉センター6階研修室	9月13日(金) 14時30分～16時00分	8月15日
第4回	● ハローワーク川崎 ● 福祉パルみやまえ(宮前区社会福祉協議会)	11月12日(火) 14時30分～16時00分	10月15日
第5回	● ハローワーク川崎 ● 福祉パルたま(多摩区社会福祉協議会)	1月17日(金) 14時30分～16時00分	12月15日
第6回	● ハローワーク川崎 ● 福祉パルあさお(麻生区社会福祉協議会)	3月14日(金) 14時30分～16時00分	2月15日

【会 場】 北・南 2会場同時開催 ※各会場6事業者参加

〈川崎南会場〉ハローワーク川崎6階会議室

〈川崎北会場:6会場〉各福祉パルなかはら・たかつ・みやまえ・たま・あさお

川崎市総合福祉センター6階研修室(各回会場が異なります)

【申込手順】 川崎市福祉人材バンクホームページ内の『令和6年度福祉のお仕事ミニ就職相談会申込フォーム』より申込んで下さい。申込多数の場合は抽選となります。

〈申込フォーム〉 <https://forms.gle/J5d8TyXuHaLkeMjFA>

※参加条件は、ハローワーク川崎又は川崎北、川崎市福祉人材バンクの求人票に有効求人として出されていること。

〈申込・問合せ先〉 社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 川崎市福祉人材バンク

〒211-0053 川崎市中原区上小田中6-22-5 川崎市総合福祉センター5階

TEL 044-739-8726 FAX 044-739-8740





～当日の流れ～



各会場の参加者は、福祉のお仕事に興味関心のあるハローワーク求職者約 25 名となります
【タイムスケジュール】

14:15頃 参加事業者集合

※13:30より、同時開催のハローワーク主催の説明会が開催されていますので、早目に来場いただき
見学可能です

14:30～ 2グループ（3事業者と約半数の求職者を1グループとして）に分かれ、現場職員さん
と求職者の方との座談会（約15～20分ずつ）

15:00～ 個別相談

※無資格未経験の方も多く参加されますので、多様な求人をご準備願います。

※可能な限り、採用担当者様と現場職員の方（若手、転職、アクティブシニアの職員さんなど）
の2名でのご参加をお願いいたします。

※当選事業所につきましては、人材バンク Instagram にて事前に参加事業所の周知を行いますので、
開催 10 日前を目途に事業所の写真提供をお願いいたします。

※取扱求人は、川崎市福祉人材バンク及びハローワークにて募集している求人とします。

※当選決定後、ハローワーク川崎又はハローワーク川崎北に出されている求人票番号の
確認を行いますので、必ず有効求人票をお出し願います。

共催：川崎市社会福祉協議会・ハローワーク川崎・ハローワーク川崎北



Instagram 掲載記事募集中！（随時）

令和 6 年 4 月 9 日現在 フォロワー数：216

「川崎市福祉人材バンク Instagram 施設紹介の記事掲載について」

川崎市福祉人材バンク Instagram では、令和 5 年 6 月より、「福祉のしごと」をより身近に感じていただけるよう、福祉の仕事の魅力、川崎市内の施設紹介記事を発信しています。

活き活きと働いているリアルな 1 コマやコメントをお届けすることで、少しでも身近に感じていただき、働く仲間と一緒に増やしていきましょう！

<掲載方法について>

○応募は下記の掲載方法（1）又は（2）をお選び下さい。

※ 施設名の掲載有無についても選択いただけます。

※ 貴施設のハッシュタグ#をつけることが可能です。

（1）施設の紹介 お仕事の魅力発信 （写真 3～4 枚、動画も可）

8/10 掲載



12/7 掲載



2/8 掲載

社会福祉法人母子育成会
あすいく保育園



（2）川崎市内の施設紹介（リレー方式） （写真 3～4 枚、動画も可）

1/11 掲載 川崎市福祉人材バンク





2/1 掲載 高齢者福祉施設すえなが



2/15 掲載 幸区社会福祉協議会



2/22 掲載 特養 新緑の郷



2/29 多摩川の里



3/7 なかはら訪問介護支援事業所





4/4 すこやか溝口保育園



<写真データ提出方法について>

○下記の写真データ提出方法 (A) 又は (B) をお選びください。

※ 可能な限り、既存の写真の提供をお願いいたします。

施設にて保管している又は使用している写真で構いません。

(A) 既存の写真（動画）を利用する。（施設にて保管している写真 3～4 枚）

※ 写真（動画）データを下記のメールアドレスに送信してください。

jinzai@csw-kawasaki.or.jp

※ 写真送信の際、写真の詳細（どういうシーンなのか等）をご記入ください。

(B) 人材バンク職員が施設へ伺い、写真（動画）撮影。（3～4 枚）

- ※ 日時については、別途調整させていただきます。
- ※ 人材バンク職員が撮影を行います（素人です）。

Instagram の更新は毎週木曜日昼頃です。ぜひ、チェックしてみてくださいね。
福祉事業所の皆様からのたくさんのご応募をお待ちしています。

- ※ Instagram に掲載する上で、
①事業所の特徴（セールスポイント）、②事業所の理念を申込フォームに入力ください。
※ 事業所様からいただいた文章を編集して掲載させていただきますので、ご了承ください。
ご不明な点等は、こちらから問合せいたします。

下記の申込フォームより、お申込みください。

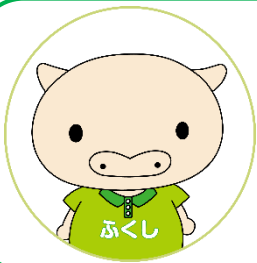
(1)施設の紹介 お仕事の魅力発信

(2)川崎市内の施設紹介(リレー方式)



アカウントがある事業所は、人材バンクへの登録及び添付の二次元コードを読み込み、
Instagram のフォローをお願いします！

<https://www.instagram.com/kawasaki.jinzaibank/>



こころの健康相談室 ふおーえむのご案内

(R6年4月～8月)



こころのケアを必要とするのは、支援が必要な利用者の方ばかりではありません。
「こころの健康相談室ふおーえむ」は、川崎市内の福祉施設を運営している法人又は従事している職員の方を対象とした、こころの相談窓口です。臨床心理士が無料で相談に応じます。



相談
無料

相 談 日 時
(★の日は夕方からの相談となります)

4月15日(月)	4月19日(金)
5月10日(金)	5月17日(金)★
6月 3日(月)	6月14日(金)
7月 5日(金)★	7月12日(金)
8月 2日(金)	8月26日(月)

お仕事
帰りの相談
も可能



①13:30～14:20、②14:30～15:20、③15:30～16:20
★①16:30～17:20、②17:30～18:20、③18:30～19:20

例えば こんな相談・・・

- *職場の人間関係がうまくいかない
- *プライベートな悩みで仕事に集中できない
- *漠然とした不安がいつもある
- *いつも落ち込んでいて気分転換ができない
- *職員のメンタルケアの仕方を学びたい
- *組織内でのデリケートな問題が発生した際の解決方法について知りたい



- 【相談場所】川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）5階
【相談方法】予約の上、来所による対面相談の他、状況に応じてオンライン、電話、事業所等への訪問等が可能です。（原則個人は3回、法人は5回まで）
【相談員】井上 果子氏（横浜国立大学教授 臨床心理士）
【予約方法】申込フォームからお申込みください。
(右下に申込フォームがあります) 後日、確認の返信をいたします。
(1週間以内に連絡がない場合はお電話にてお問い合わせください)
フォームでのお申込みが難しい場合は、お電話にてお申込みください。



044-739-0058 (予約受付時間 9:00～17:00)

申込フォームは
こちら





人間関係に
役立つ☆



こころの豆知識

その29

【 OODA(ウーダ)ループ 】

昨今、組織の業務改善の手法でPDCA(計画、実行、評価、改善)が浸透していますが、最近ではPDCAの代わりに、VUCA時代(こころの豆知識 第26号掲載)に対応する手法として、OODAループが浸透していることはご存じですか。

★OODAとは…

- ・観察する (Observe) → 「生データ」を収集する
- ・状況を理解する (Orient) → 集めた生データをもとに、今何が起きているのかを把握・理解する
- ・決める (Decide) → 理解した状況に対して、具体的な方針やアクションプランを決定する
- ・動く (Act) → プランをもとに、実行に移す

OODAループは先の読めない状況で、成果を活かすための意思決定方法として、アメリカの軍事戦略家が発案し、今はさまざまな組織でも取り入れられています。

集めた「データ=情報」をもとに、何をすべきかについて、具体的に考えることは、判断するスキルを高めることになり、事前にトラブルを防ぐことにつながります。

特に、組織の中で、明確な進め方が決まっていない時に、OODAループを活用すると効果的です。

どんな組織でも、管理職は責任が問われる時代なので、OODAループを取り入れることも検討に値すると思います。

〈 横浜国立大学教授・臨床心理士・公認心理師 井上 果子 〉

この紙面に関するご意見・ご感想をお待ちしています。

川崎市福祉人材バンク ☎044-739-8726

HP:<https://kawasaki-jinzaibank.jp>



☆人材バンクInstagram☆
二次元コード